各種社會問題之研究

滿洲之社會

乙丑七月號

第參卷第拾壹號

滿洲社會事業研究會

一資本金　壹億圓

一積立金　八千五拾萬圓

本店　横濱

支店
出張所

東京、名古屋、大阪、神戸、下ノ關、長崎、青島、濟南、天津、北京、漢口
上海、香港、廣東、牛莊、奉天、開原、長春、哈爾賓、浦鹽、(一時閉鎖中)
西貢、新嘉坡、蘭貢、カルカツタ、孟買、マニラ、スウラバヤ、スマラン、
バタビヤ、シドニー、倫敦、里昂、漢堡、布哇、桑港、ロスアンゼルス、シ
ヤトル、紐育、リオデジヤネイロ、ブエノスアイレス

大連市大山通一番地

横濱正金銀行大連支店

電話＝
代表番號三一六一番
海關取扱所四七六二番
宿直專用六〇一五番

満洲之社會＝乙丑七月號（大正十四年七月發行）

資本金　八千萬圓
積立金　千百五拾八萬圓

一般銀行業務、外國爲替並日本銀行代理店事務を取扱申候
尚銀行勘定取引も精々御便宜に御取扱可申候

大連市西通二番地

朝鮮銀行大連支店

電話（代表番號八一〇二二
　　　宿直室用五七二二）番
振替貯金大連一〇〇〇番

本店　京城

支店出張所

内地　東京　大阪東區及西區　神戸　下關
朝鮮　釜山　大邱　仁川　平壤　鎭南浦　元山　群山　木浦　清津　會寧
滿洲　旅順　營口　遼陽　奉天舊市街及新市街　鐵嶺　開原　鄭家屯　長春　四平街
　　　吉林　安東縣　龍井村　哈爾賓　傅家甸
支那　上海　天津　青島　濟南
露領　浦潮　亞港（樺太）
米國　紐育

右ノ外倫敦、巴里其他内外樞要ノ各地ニ爲替取引先有之候

●資本金　貳千萬圓
●諸積立金　貳百四拾參萬五千圓

大連市大山通十一番地

株式會社 正隆銀行

電話代表番號七一一一番
振替貯金口座大連二二〇番

頭取　安田善四郎
相談役　安田善次郎

●定期預金利子（一ケ年）七分
●當行は安田貯蓄銀行の代理支店として一般貯蓄預金を御便利に取扱申候
●當行は日本内地、朝鮮、南北滿洲、支那内地に於て約二千余の爲替取引先を有し候
●當行は關東州地方費現金並に大連市金庫事務取扱致候
●當行は臺灣銀行と特約を結び外國爲替取扱致候

支店（所在地）旅順、營口、奉天、撫順、開原、四平街、長春、鄭家屯、天津、青島
出張所（所在地）公主嶺、哈爾賓
派出所（所在地）大連市小崗子（電話五三〇〇）、同市沙河口（電話沙河口一五番）、奉天城内

本店　東京市麹町區有樂町一丁目一番地

支店　（大連、青島、奉天、哈爾賓、京城、釜山、大邱、大田、木浦、元山、裡里、沙里院、平壤、）

出張所　間島

東洋拓殖株式會社

大連支店
電話（長）七一四七番（長）七一四九番
振替口座大連一九七八番
受信略號タイレン、トタク

奉天支店
電話（長）六五七番、（長）三九七番
振替口座大連一九六八番
受信略號ホウテン、トタク

營業科目

一、拓殖ノ爲メ必要ナル資金ノ貸付
一、農業、水利事業及土地ノ經營
一、農業者ニ對シ其ノ必要ナル物品ノ供給及其ノ生産物品ノ分配
一、移住民ニ關スル業務
一、委託ニ因ル土地ノ經營及管理
一、其他拓殖ノ爲メ必要ナル事業ノ經營
一、定期預リ金

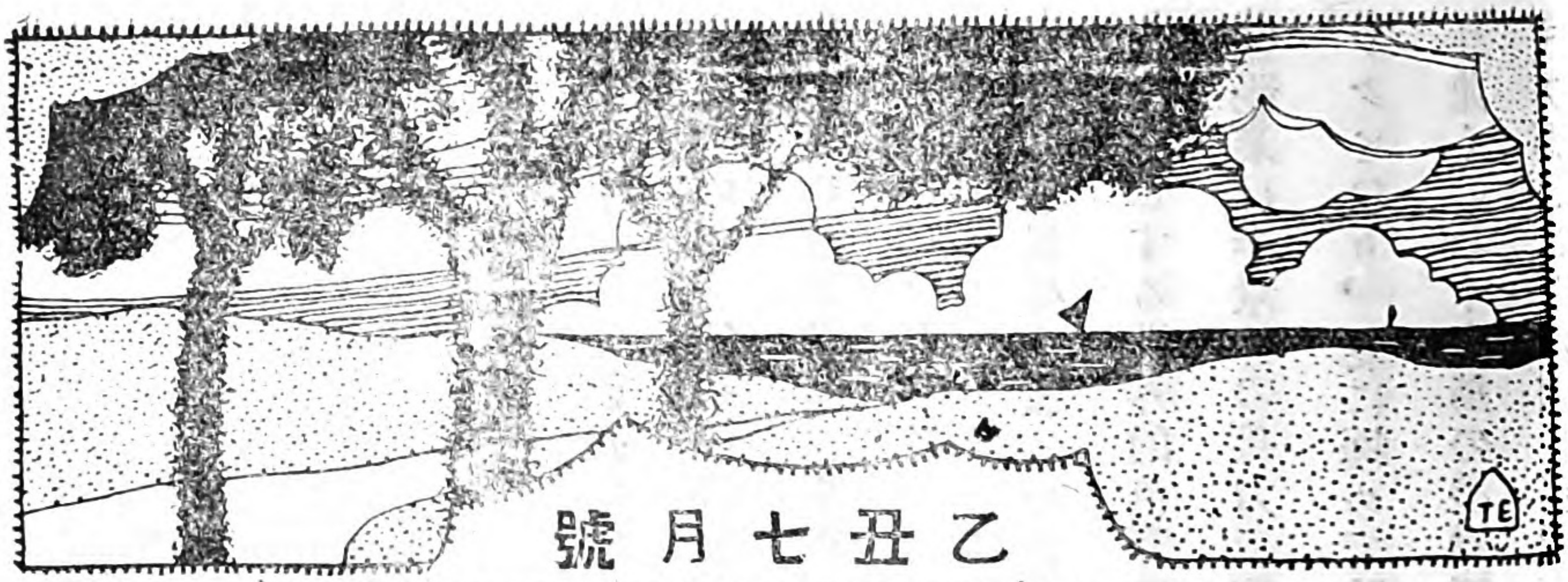
火災
海上
運送
保險

明治火災保險株式會社　千代田火災保險株式會社
東京火災保險株式會社　東京海上火災保險株式會社
日本火災保險株式會社　神戸海上運送火災保險株式會社
共同火災保險株式會社　大阪海上火災保險株式會社
横濱火災海上保險株式會社　大正海上火災保險株式會社

代理店

三井物産株式會社
大連支店

大連市山縣通一八二號地
電話　代表番號七一〇一番

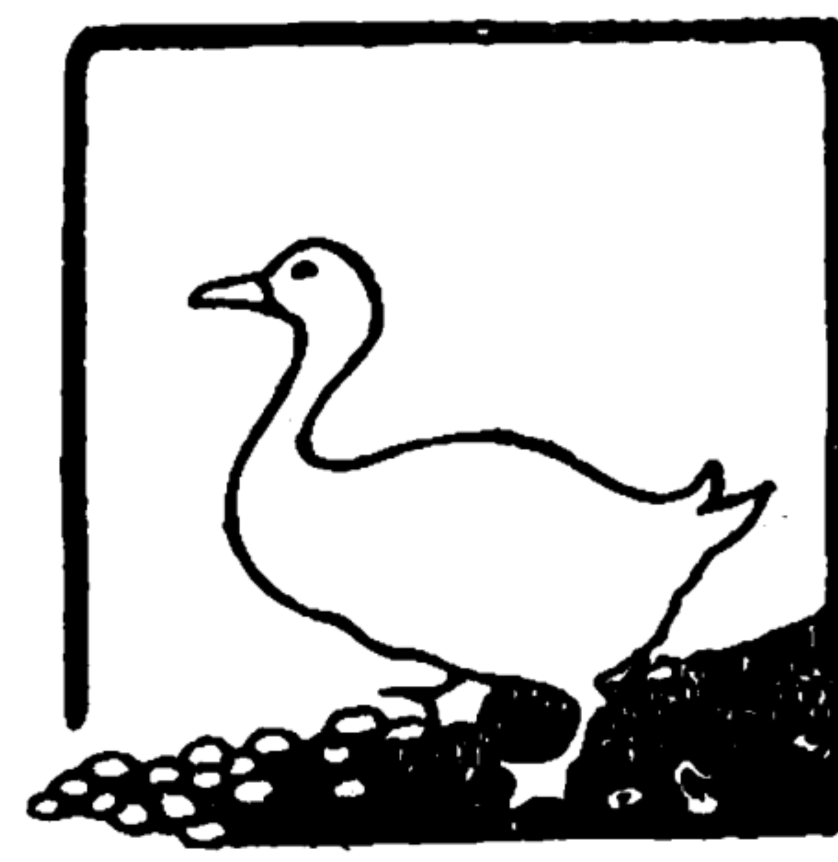


支那の民衆と思想

支那人の心裡の複雜なるが如く支那の思想界も亦甚だ複雜なり。今日の社會主義、無政府主義の思想は勿論、民衆主義の思想の如きは支那において最も能く發達し、之を明白に說きたる者は孟子なり。支那は易姓革命の國柄にして、禪讓と放伐と常に相交替して行はれ、貪官汚吏の苛歛誅求は絕えず繰返され、生民その堵に安んぜざるにも拘らず、支那の民衆力は極めて强靱なり。是れ民衆主義の思想が能く發達し居れる一證左と視るを得べし。

舜何人ぞ、吾れ何人ぞ、とは支那の民衆主義的思想にして、王公將相豈に種あらんや、と云ふも支那の民衆主義的思想なり。此の故に風雲に際會すれば匹夫も王公となり、將相となり、草澤の英雄たる土匪の頭目の如きも天下の權を握りて威風四邊を拂ふを得るなり。大日本史を編纂せる水戶の義公が支那の民衆主義を說ける孟子を我が國體と相容れずと見做したるも故なきにあらず。最近の排外的民衆運動の如きも支那傳統思想の一發露なり。

個人的には利己心深く、民衆的には雷同性强く、而して其の思想の案外に複雜なるは、支那民族の通有性なり。之を以て愛國を看板とせる學生運動にもその裏面に種々の魂膽を包藏す。勞働運動より排外運動と化したる最近の民衆運動も、その排外を日英兩國に限り、陰に米國と露國とに秋波を送れるが如き、以てその如才なさを見るべく、得意の以夷制夷策は民衆運動の間にも潛在す。要するに支那の民衆とその思想には特色多しと知るべし。



支那の排外的勞働運動

山田芙峰

支那革命の元勳孫中山の民族、民權、民生の三大主義なるものは、種族革命、政治革命、社會革命を意味するもので、第一の種族革命は成就したが、第二の政治革命と第三の社會革命はまだ一向物にならない。民權主義の政治革命は軍權、政權、財權の總べてを握れる支那の特權階級たる軍閥者流を葬らねば全たしと云へないのに、主唱者たる孫文がその軍閥と握手した爲め、彼の創設した國民黨の一部は右傾し、他の一部は左傾して民生主義の社會革命を志ざし、之がため政治革命を愈々難境に導いた、と同時に、支那の智識階級を中心とする排外的色彩の濃厚な勞働運動を勃發せしめた。暴動化せんとした青島における各紡績工場の同盟罷業は李景林の兵力で鎭壓されたが、上海のそれは遂に排外的暴動と化し、ストライキとなり、アウトルックとなり、更に極めて險惡なる排外的ボイコットさへ行はれた。

此くの如く支那の勞働運動が排外運動となつたのは、支那に各國人の投資企業が行はれ、上海その他の南支方面には日本人と英國人の生産事業が多い故でもあるが、元來支那人の攘夷思想と排外的敵愾心が強いか

らである。一八九九年の冬に『護清滅洋』の旗印を掲げて直隷、山東兩省に群起した宗敎的迷信の義和團事變は暫くこれを措き、その後學生を中心にした種々の群衆運動、例へば國貨奬勵、利權回收、國權回收を叫んだ愛國運動の如きは、他國の侵略に對する抵抗なりと稱し、專ら日本に當り散らし、幾度となく日貨抵制を繰返した。文化運動、敎育運動の如きも、主として排外的であつて、是等の運動には常に必ず學生が參加し燕趙悲歌の徒を眞似て群衆の血を湧立たせる。最近上海方面に起つた勞働運動は、この學生運動の變形とも將た延長とも看るべきものゆゑ、遂に變じて排外運動となつたのは當然だ。昨年七月北京に設けられた反帝國主義同盟會は、支那國會議員中の急進派に屬する胡鄂公、雷殷、王文璞、馬讓、國民黨の左傾派たる胡漢民、張繼、王兆銘、無政府主義の信者たり學徒たる李石曾、共產主義の實際運動家たる李大釗、陳獨秀などが牛耳を執り、而して此の同盟團體は北京學生聯合會、社會青年會、中國外交改善會、女子學會、その他五十餘の團體から成つて居る。支那の勞働運動は斯樣なものを背景として居るので、その勞働運動が範圍を超ねて排外運動となり、モツブ騷動となり、更に民生主義の社會革命に突進し、尙ほ租界回收や、關稅自主權や、領事裁判權の撤去や、不對等條約の廢棄などまで叫び出すのである。

支那はまだ眞の資本主義國となつて居ない。その經濟組織は甚だ幼稚で、外國人の投資企業によつて幾らかづゝ近世式の產業が起り、それに刺戟されて支那人經營の工業も進みつゝあるけれども、勞働者の大部分は無自覺であつて、勞働問題に目醒めて居るとは云へない。それにも拘はらず、開平炭の產地として有名な

開灤炭坑に支那人坑夫の大模規なストライキが起り、香港海員の總同盟罷業や、京漢鐵道從業員の大同盟罷業や、その他種々の罷業が起り、デモンストレーションも行はれ、最近には日本人經營の紡績工場を的としてのストライキが繰返され、一轉してそれが排外運動と一變したのは何ういふ譯であらう乎。前にも述べた通り、支那には社會主義や無政府主義などの種々なる思想團體があり、秘密結社が非常に多く、反帝國主義を看板とした同盟團體も生まれ、是等の或るものは露國の第三インターナショナルと提携し、民權主義の政治革命が難かしくなつた結果、一擧に社會革命に突進せんとし、勞働者を誘ひて工人會その他の勞働團體を組織させ、常にこれを繰つて居るので、少しでも虚隙があると、直ぐ炊き付けて勞働運動を起させるのである。支那の勞働運動は勞働者の自發よりも智識人の教唆に成る場合が多い。

此の狀勢は帝政時代の露西亞に似た所がある。帝政時代の露西亞は、支那と同じ樣に、眞の資本主義國とは成つて居なかつたが、貴族、軍閥、官僚、僧侶、大地主などの特權階級が餘りに民衆を威壓して專恣橫暴を事としたので、種々の革命的秘密結社が起り、許多の若い革命兒が血を流し、犧牲を捧げ、偶々歐洲戰爭の機會にロマノフ朝廷を倒し、特權階級を葬り、レーニン、トロツキーの二人者によつて一擧に社會革命を達成した。今之れを支那に觀るに、支那の特權階級は軍權、政權、財權の總べてを握れる軍閥とその系統に屬する官僚であつて、實際の支那は封建時代その儘であるから、今日主として排外的に現はるゝ民生主義の社會革命を目的とする勞働運動がその勢ひを高め、萬一軍隊にまで手を付けたら、夫れこそ露國の二の舞を踏

まぬとも限らない。カラハンが支那の赤化を可能性に富むと言つたのは據る所がある。勞働者の味方である支那の學生、新人及び青年等は、支那の勞働運動を先づ對外的に惡化し、國際問題の紛糾に乘じて、内の軍閥に鋒を向け、政治革命と社會革命を一擧に達成したいといふ希望を持つて居るかも知れない。支那の軍閥や官僚が民意迎合に苦心するは此點を恐れて居るからでもあらう。

支那における勞働運動の眞相はザッと斯んなものであるが、併し此の故に支那の勞働運動を徹頭徹尾第三者の使嗾に成るものとし、勞働問題に對して何等の考慮を廻らす必要なしと云ふは間違ひだ。排外的暴動化した以前の上海における勞働運動は、物價騰貴の割合に勞働賃銀が上らず、勞働者が勞働賃銀として受け取るところの銅錢の價値が下り、日本人の工場監督が鐵拳制裁を加へるなどの事もあつたので、賃銀増額と待遇改善を要求し、遂に同盟罷業となつたのだ。之れは純然たる爭議である。賃銀増額や待遇改善についての要求に對しては、支那における外國人の事業家たり工場主たる者の虚心に商量を要することで、勞働賃銀の増額は生産費を高める、と云ふやうな單純な利己的動機でこれを跳ね付けるのは宜しくない。支那人勞働者の賃銀の安いのを附け目に成るべく之を安い程度に維持しやうと考ゐるのも惡い。日本駐劄の支那代理公使張元節は『上海と青島とに起つた罷業の根本的原因は生計問題である、上海は昨年兵燹に會つた爲め、各工場に働いてゐる勞働者の生計は極度に苦しくなつた、然るに各國の資本家はこれを察せず、勞働者に對する待遇を改め樣ともせず、勞働者が賃銀増額と待遇改善を要求すれば、頭から無下に跳ね付けると云ふ有樣だ

つたので、遂に發して罷業となつたのである』と言つたが、之れは當時の事實を有りのまゝに語つたものであらうと思ふ。上海の勞働運動が排外的に大きく燃え上つたのは、斯様な虚隙があつたからで、つまり可燃性のあつた故である。支那人勞働者を宛然牛馬の如く見做し、彼等の生活程度の低いのをいゝ事にして、その勞働賃銀を飽くまで値切らうとし、彼等の正當なる要求を容れず、要求されぬ前に事業主自ら彼等に對する待遇を改善しないと云ふのは、謂ゆる資本家專制であつて好くない事だ。

滿洲日日新聞に金州の内外棉紡績工場に働いてゐる支那女工の話が載せてあつた。それに依ると、職工の見習は男女や年齡の區別なく一律に日給二十五錢、見習を過ぎてからも賃銀は餘り増さず、男工の最高賃銀は四十七八錢、女工のそれは三十七八錢、之を一箇月に計算して見ると、月に四回の休みがあるから、見習は六圓五十錢、男工は最高額で十二圓見當、女工は最高額で十四圓内外に過ぎない。此の以外に賞與とか心付けとかは全くない。見習の多くは寄宿舎生活をして居るが、彼等の一箇月間の支出は、壹圓の家賃の家に四人雑居でその家賃が一人當り二十五錢、食費が一人五圓、合計五圓二十五錢であるから、六圓五十錢の收入では殘るところ僅に一圓二十五錢に過ぎない。如何に生活程度の低い支那人勞働者でも斯うした薄遇では遣り切れまい、不平も起らう、苦情も出やう。次に勞働時間はと云ふと、午前の六時から午後の五時半までで、中食のため三十分休むとしても、正味十一時間といふ長い時間であるので、女工の中には疲れて缺勤する者もあり、隨つて勞働時間の長い割合に能率は餘り上がらないさうである。斯んな待遇をする爲め、平素

はおとなしくして居ても、不平と不滿が胸に在るので、それにちよつと點火する者があると、直ぐ燃え出すのである。支那の罷業騷ぎは外國の事業家が半ば自ら招ける罪である。

資本家たり事業主たるものは、今後勞働問題に深甚の注意を拂ふべきであつて、それは國内でも國外でも同樣である。國外で事業を營む場合には、言語や、風俗や、習慣を異にする勞働者を煩はさねばならぬのであるから、勞働問題に一層の注意を要するわけだ。賃銀の安いのを可い事にして無暗と他國の勞働者をコキ使ふと云ふは亂暴だ。資本と勞働とは産業の二大要素であつて、元來協調すべきものなれば、こゝに深き思ひを致し、資本家なり事業主なりが自ら進んで勞資協調の旨を適ふた何等かの方法を講ずべきであらう。此の事について、昨年の秋日本に行つた英國の實業家ラウントリーの説は參考となる價値があるから、茲にその大要を紹介しやう。ラ氏は勞資協調の實行者で、彼の體驗に基づく實際談によれば、先づ第一に勞働賃銀は、結婚し得る程度のもの、相當な家屋に住んで家庭生活を樂み得られる程度のもの、適當な數の子供を育て得る程度のもの、肉體的にも精神的にも健全なる慰安を取り得る程度のもの、不時の疾病又は災難に對する幾分の準備を貯へ得る程度のもの、此の五ッの條件を具へたものであらねばならぬと云ふのだ。我國の資本家なり事業主なりは勞働者に對し果してこの條件を具へた賃銀を與へて居るだらう乎。如何に生活程度が低いと云つて支那人勞働者の賃銀を飽くまで安く値切らうとするのは沒義道と云ふものだ。斯んな不合理不人情な事をして、勞資協調を望んだところで、それは到底不可能だ。

猶ほラ氏の談によれば、勞資協調の要件は、右の如き勞働賃銀の外、勞働時間を一週間四十八時間とすること、職業の安全を保障するため政府の失業保險以外に會社自ら保險制度を設けること、勞働者の地位を尊重して發言權を與ふること、利益の分配に與からしむること、凡そ是等の條件が必要であるさうな。産業の尙ほ幼稚な我國、殊に支那の産業界に斯樣な勞資協調は固より望まれないが、産業の上にも政治上におけるが如き立憲的制度を設け、英國のショップコンミッテーの如きものを組織したならば、資本家と勞働者の意志と感情が疎通し、爭ひの起つた場合、第三者を煩はないで、兩者直接にその爭議を解決することが出來るだらうと思ふ。之れは資本家なり事業主なりの深思すべき要點である。勞働組合法や勞働爭議調停法が早晩實施されやうといふ折柄こゝに注意を拂ふが當然であるとも考へられる。

今日の支那における勞働運動は、勞働者の自發よりも第三者たる智識階級の使嗾又は敎唆より起る場合が多く、それ丈け思想的に根深い點があり、極めて危險な所がある。支那における産業經營が比較的多く外國人に依つて爲さるゝため、多年の傳統的排外思想と相待つて、その勞働運動が排外運動となつて大いに脱線してしまふこと、今次の上海における罷業の如くなつては、益々危險であり、面倒であり、また厄介でもある。ソヴエート露西亞を眞似て支那の新人、學生、青年及び急進的將た左傾的の一部政客が民生主義の社會革命に突進するにおいては、いよ〱以て危險千萬である、この故に支那に投資企業する外國人は、一層勞働問題に注意し、勞働協調に思ひを致さねばならぬのである。

愛の力と社會

◎愛は總べての源泉であり道德の根源であり而して又宗敎の基底である◎釋迦の慈悲はキリストの愛とその大本を等ふし孔孟の仁義も西洋のヒユーマニチーも歸するところは愛に外ならぬ◎墨子は愛の片寄れるを非として兼愛を說いたが愛そのものは本來無區別普遍的のものである◎眞に己れを愛する者は他をも愛し眞に自己の家庭を愛する者は自己の社會及び國家を愛し己れの國家を愛する者は他の國家をも愛する◎愛はこれを縮むれば方寸の裡に收まり擴げてこれを進むれば無限大に殆んど際限なく延びる◎六合を包み八紘を掩ひ清濁併せ呑み行くとして可ならざるなきが愛の力である◎國際心なるものも所謂コスモポリタリズムなるものも其の根抵は愛の力に外ならぬ◎四海同胞も正義人道も人種平等も共存共榮も要するに愛の大きさを言つたものだ◎人類愛を說いて己れの社會と國家を愛せざるもの卽ち愛國心なきものは愛の人でない◎君に忠ならず親に孝ならざるもの奚ぞ能く社會の不善を改め國家の曲事を矯め世界の惡潮流を淸むるを得んや◎明治維新の大業に最も重きを爲した西鄕南洲は全身是れ愛の人であつたので僧月照と共に薩摩灘に身を投げ後には江南の子弟に擁せられて城山の露と消えたのだ◎愛は春風の如く和らけきと同時に場合に依つては秋霜烈日の如き嚴を示す撫づるも愛なれば擊つも愛だ前者は則ち慈母の愛であり後者は則ち嚴父の愛である◎現代は何事も理智的となり科學的となり機械的となり物質的となつた爲め此の一番肝腎な人間の愛が怪しくなつた◎自然に存ずる愛が消失したのではなく物質文明の盤根錯節に制せられて愛を表現する機會と場合が少くなつたのであらう◎身を殺して仁を爲すのは大愛の人にして初めて能くする所だ犧牲は愛が最も高潮に達した時に起るのである◎社會奉仕も愛の作用だ己れを虛うして始めて社會奉仕が出來る利己的に賣らんが爲めにする商人の社會奉仕などは論外だ◎父母、兄弟、姉妹の外に見も知らぬ他人同士までが愛を以て交はる所に社會愛なるものが生まれるのである◎倶に樂むとは倶に愛すると云ふことだ今日の倶樂部なるものの又その社交なるもの果して愛が中心となつて居るか何うか◎愛の源泉を堪ねて萬事に臨めよ爭ひを淨化するも愛の力だ。

自治自助

◆自分の事は自分の力で處理し決して他人の厄介にならない之が個人の自治である◆市町村の自治は國家行政の一部を法律の範圍内において市町村民の構成する機關に依つて自ら行ふことである◆自ら助くる者は天之を助くとの古語の通り自治自助の力のない者に幸福は宿らない◆だが此の社會は個人の力が相依り相扶けて共同的動作の上に成立つて居るのだから個人の絶對的自治があらう筈はない◆個人の自治と共にそれが個人的利己主義となり其の自由が放縱となれば共同生活團體たる社會の紐帶は弛むに極つてゐる◆市町村といふ公共團體は市町村民の共力に依つて其の自治が出來るのだが社會も個人が自治的なると同時に相和し相扶けて全體の上に協戮一致しなければ健全に發達し得ない◆故に眞の自治は自分を強く良くすると同時に他をも強く且良くする事であらねばならぬ◆己れは自分の力で斯んなに豪くなつたのだと云つてその致富を誇りその成功を誇るのは社會の恩惠と云ふことを知らない自我的利己的の人である◆自治を奬勵するのは結構なことだが斯樣な自我的利己的の自分免許の我儘な者が多くなると社會は紊れてしまふ◆何んな者でも他の力を藉らない者はない人は先づ第一に天地の惠みを受け產まれると父母の愛を受け學校では先輩の敎ゐを受け社會に出ると社會の恩惠に浴して居るのである◆或る物の道理の解らない成金があつて安く土地を買占めて好況時代にそれを高く賣つてシコタマ儲けた時に鼻を鳴らして曰く◆ニ「どうだ己れの腕前は凄いものだらう」と然るにその土地に値が出たのは彼れ自身の力ではなく寧ろその土地の附近が社會的に發達した爲である◆社會の恩惠といふ事を知らないで自分が成功するとそれを己れ自身の力であると思ふやうな者は自治自助の人でない◆眞に自治自助の意味を知つたものは謙抑の德を具ゐ自利よりも利他を重んじ自分に何か幸福があると先づ之を神に感謝し次に之を國家の恩若くは社會の恩として深く感謝する◆感謝すると同時に報恩の志を高め國家並びに社會の公に奉じて幾分にても世のため人のために竭さうと云ふ考ゐを起すものだ◆偉人とか傑士とか云はれる人物は己れの事よりも他の事を先にし自分を治めると共に他の治まることを欲する◆日本近世の

偉人西鄕南洲は常に天を畏み天を怖れ士を愛し人を重んじたではないか◆亭主が良くなるのは亭主自身の力のみでなく女房の力が與つて多きに居るかも知れず子弟が出世するのは子弟自身の力よりも他の力の方が多いかも知れぬイヤ社會の力のお蔭である◆爰に於てか自治を奬勵すると同時に自治の眞意義を廣く一般に知らしめる必要がある◆吾等の解する所では自治とは「自分の力で出來ることは他人の力を藉らぬ樣にし一面自分は社會の一員であると云ふことを知つて社會のために自分の力を他に致す」と云ふ意味だ◆と斯う思つて居るが勿論それは自治の解說として十分なものとは言はない併し大體において斯んな意味のものと思ふ◆彼の有名なスマイルスの自助篇を見てもその自助の人は自分の事ばかり計つた人でなく進んで他のために竭すといふ考への深かつた人なので天もまた自ら之を助けたのである◆此の四月中來滿した後藤新平子は東京市長時代に市町村自治の本義を闡明した人で少年團聯盟の總裁となつてからも少年に向ひ「自分の事は自分でせよ他に厄介掛けるな」と常に訓戒して居る◆「自分のことは自分でする」と云ふのが自治の本義でその裏には「他人に厄介を掛けない」といふ意味が含まれてある◆個人の自治然り市町村の自治亦然りだが之を穿き違へて「自分のことは自分で自儘勝手にする」と考へると誤まる◆自治とは何でも彼でも自分の自儘勝手にする事ではないさう考へると我儘になり人各々の氣隨氣儘な事ばかりして社會の綱紀を紊亂してしまう◆天の恵みを知らぬ者は自治の人でない父母の恩や國家又は社會の恩を知らぬ者は自治の人でない自治の人は我儘者でない◆市町村の自治も國家行政の補翼として働くところに意義があるので有つて市町村各自が國家を無視して勝手な事をするのは寧ろ自治の賊である◆要するに個人は社會の部分、市町村は國家の部分、國家は世界人類社會の一單位である◆隨つて部分は常に全體のために相依り相扶けて働かねばならぬ而して其の部分を健全にする事は要するに全體を健全にせんがために外ならぬのだ◆此の道理を覺らず全體を無視して單に部分々々のみ自治するのは大間違ひである◆全體のために部分々々が相結んで夫々に強く且良くなる所に調和と互助とがあり斯くして自治自助の意義が發揮されるのだ。

米國の公益事業と寄附金

中央社會事業協會主事　原　泰　一

米國に於けるフイランソロフヒー即ち博愛主義は從來どんな社會的公共施設となつて現はれて居るか、換言すれば、米國の富豪は社會事業に對して如何なる觀念を抱き、そして如何樣に出資し、如何樣に努力して居るか、之を知るには心理的方面の研究も必要であるが、その方の研究は他日に讓ることゝし、爰には彼國の實例を擧げて切に我國富豪又は篤志家の覺醒と奮起とを促したいのである。

各インスチチユーションの土地及び建物、例へば各種の病院、施療所、保養所、盲聾啞者、低能者其他身體及び精神缺陷者の學校又は收容所、老者收容所、孤兒院、博物館、私立大學、圖書館、公園、遊戲場、各ソシアル●センター(セツトルメントクラブハウスY.M.C.A.等)キヤンプ等の土地及び建物は、殆ど皆某記念と名の付いた寄附で出來たものである。舊い私立大學又は病院などの建物の大部分は此種の寄附金で出來たものである。我國には全國を擧げても此種の建物は算へる程しか無いであらう。近頃米國では寄附金をするにフアウンデーションの形を以てすることが行はれて居るが我國でも近頃寄附と言へば直ぐ財團と云ふやうな傾向がないでもない。然しフアウンデーションの事は、次に記すが如く、主として金額が百萬弗以上に纏まつて居り、順次之れに追加せられて行く場合の寄附金を以てするのである。米國では已に今日まで必要に

應じた各種社會事業、敎育事業のインスチチユーションは到る處にある程に、充分此の方面への寄附行爲が行き渡つて居るし、近頃は政府が税金で得た歳入を段々その方に費消するのも尠くない有樣であるにも拘らず、今日尚ほ此種の寄附行爲に成る土地及び建物が增加しつゝあるのである。

最近に此種の寄附金は非常に數を增したが、今その特徴とする所を記せば、此種の寄附金の[illegible]

で、更に之が追加される樣に出來て居る事、何れの場合に於ても此種の寄附金は或る敎義に束縛せられることのない樣にしてある事、寄附金使用の目的も地方的又は部分的より遙かに國家的或は世界的である事、それから其の行政も一般的であり、且融通の利く樣に出來て居り、從つて將來情況の變化に何時でも順應する用意がしてある事である。又そのコムミツチーは政治的に關係なく財團その者から離れて選ばれる。そして如何なる場合に於ても、彼等は其の勞力に對して僅かの報酬さへも受けることなく、全く愛他的奉仕の動機によつて働いて居る。自然彼等コム ミツチーが個人的、政治的又は地方部分的感情に動かされる憂は先づ無いとされて居る。抑も此種のフアウンデーションは一八六七年にバルチモアー市の銀行家であつたジヨウジピーボデー氏によつて創設されたピーボデー●エデユケーシヨン●フレンドを以て嚆矢とする。爾來年を重ぬる五十四年、一九二一年の調査によれば、その數全米を通じて約百三十餘を算し、爾後四年を經た今日では其の數が更らに一層增加して居る筈である。其の中には一九一四年に始めてクリーブランド市に創設せられその後漸次他の大都市に設けらるゝに至つたコムミユヌチー●トラストがあり、一九二一年七月には其種のもの全米を通じて二十九に及んだ。其のコムミニヌチー●トラストにより都市に於ける各種寄附金は一切其處に集められ、其のトラストは其の都市の社會情態を平素備さに研究調査し、寄附金のうち條件あるものは其の條件に應じて最も有效に、又條件がなければ現在その都市の最も要求して居る事業へと使用して行くのであ

る。此のトラストは何れも各州の法律によつて法人として登記せられるのである。

エール、ハーバート、プリンストンなどの舊い大きな大學は勿論、どんな小さい大學でも必ず若干の奬學金を持つて居る、そしてそれが殆ど全部寄附金で出來て居るのである。試みに米國の大學のキヤタロゲを開けて見ると必ず何某記念スカラー●シツプ若くはプライズと云ふのを見出す。我國の舊い且大きいと誇る大學に現在果して此種の奬學基金を持つて居るのがあるだらう乎。恐らく全國を通じて五指を屈するにも足りないのではなからうか。敎育奬勵の爲め我國ではモツト此種の寄附金を欲しいものだ。

今日全米に現存する各種社會事業（敎育を含む）の數は可なりに多い。從つて其の經營の爲めに費される資金は頗る大きい。それが政府經營のものを除く外殆ど全部を擧げて寄附金によつて經營されて居る。プリンストン大學社會事業部の調査によれば、一九二二年に米國現在の各種私營社會事業が要するに經費の總額は十七億四千九百萬弗で、之を種別すれば（一）宗敎費は總額八億三千六百萬弗にして、内プロテスタント五億弗、キヤソリツク二億五千萬弗、ジユーイツシ三千萬弗、Y.M.C.A.一千五百萬弗、Y.M.C.A.八百萬弗、ナイトコロンバス八百萬弗、その他二千五百萬弗である。（二）救護費は總額一億九千九百萬弗にして、内救濟事業孤兒院その他七千三百萬弗、老年者收容所五千萬弗、家族補助その他七千五百萬弗、盲唖聾者收容所一百萬弗である。（三）保健費は總計一億五千八百萬弗にして、其の内衞生病院一億二千六百五十萬弗、施療所七百五十萬弗、訪問看護婦その他九百萬弗、醫藥研究一千萬弗、保健敎育五百萬弗である。（四）遊戲及び氣分轉換費は一千五百萬弗。（五）敎育費の總額は一億四千五百萬弗にして、其の内各大學一億弗、大學以外の各私立學校五百萬弗、ニグロ敎育二千四百萬弗、特別兒童の奬勵金一千五百萬弗、經驗的特殊敎育の學校一百萬弗である。（六）美術費は二弗、（七）各種改良團體費は一千萬弗、（八）個人直接寄附は二億弗、（九）外國救

米國に於て一九二一年から一九二一年に掛けて寄附されたもの中、此に百萬弗以上の寄附者と其の金額

興復費は一千五百萬弗。（五）教育費の總額は一億四千五百萬弗にして、其の内各大學以外の各
[illegible]
濟費は總額一億六千六百萬弗にして、內アルメニア及トルコ二千五百萬弗、オーストリア二千萬弗、ポーランド一千五百萬弗、ジマーマン一千萬弗、バルチックステート四百萬弗、ルシャ四千萬弗、イタリー七百萬弗、バルカン諸國一千萬弗、支那二千萬弗、アイルランド五百萬弗である。

米國に於て一九二〇年から一九二一年に掛けて寄附されたものゝ中、此に百萬弗以上の寄附者と其の費途とを示せば、ロックフェラー氏は**一般教育の爲めに四千七百八十三萬二千弗、ファウンデーションへの追加**として一千九百十六萬弗、ミッション及び歐洲救濟の爲めに三百萬弗、ロオラスペルマンへ六千三百七十六萬三千弗を、又同氏の息はアメリカン●ミューゼアムへ百萬弗を、カーネギー氏はファウンデーションへ追加として二千四百五十萬七千弗を、フリック氏は敎育及び美術の爲めに五千五百萬弗を、イーストマン氏は敎育及び病院の爲めに一千八百萬弗を、ベーカー氏は敎育の爲めに三百萬弗を、バーネット氏はインデイアンホスピタルの爲めに百五十萬弗を、アーモアー氏はアーモアー●インスチチユート基金として六百萬弗を、バーバー氏は農學校へ四百五十萬弗を、ブル氏は救濟事業へ百萬弗を、キンバル氏は敎育の爲めに百十七萬弗を、カーズン氏は病院の爲めに二百萬弗を、シミッドラップ氏は救濟事業へ百萬弗を、レーマー氏はハーバート、コロンビア、ジョンホプキンス各大學へ一千六百六十二萬三千弗を、ハークネス氏はエール大學へ三百萬弗を、ウアード氏は獨身者のホームへ二百萬弗を、ブラック氏は救濟及び美術の爲めに二百萬弗を、シヤーマーホン氏は敎育事業の爲めに百八十萬八千弗を、コンバース氏は大學及び病院へ二千萬弗を、トライサー氏はメトロポリタン●ミユジアムへ百萬弗を、キンバル氏はシカゴ美術館へ百萬弗を、マクミユン氏はコロネル大學へ百萬弗を、メロン氏はピッバーク大學へ百五十萬弗を、サウスメード氏は敎會及び救濟事業へ二百萬弗を、トリリート氏はバプチスト●ミッションへ百六十五萬弗を、ウイーボルト氏はシカゴ救濟事業へ四

百五十萬弗を、無名者某はジョンホプキンス大學へ三百萬弗を、ハンチングトン氏は圖書館及び美術館へ一千五百萬弗を、ヘックシエヤー氏は兒童虐待防止會へ四百萬弗を、スロレート氏はコロネル大學へ百萬弗をホワイト氏は市の公益並に美觀の爲めに五百萬弗をそれぞれ寄附した。

一昨年紐育のブリペン氏が百萬弗を最も社會の要求に應じて有效に用ふる途如何と言つて、紐育グローブ紙上に廣告して汎く意見を募集したが、彼の机上に集まつた民衆輿論の聲を聞けば、模範村を建設すること小住宅を建設すること、教育費を貸與する基金に充てること、社會の向上進步に役立つ新聞を發行すること社會診斷の機關を設け、國內國際各問題の調査を示し、事實を公平に示して社會教育を爲し、且必要に適したる施設を爲すために役立てること、現存する社會事業を一層善く活用すること、完全なる精神鑑別機關及び精神缺陷者の教育並びに收容の場所を設けること等が其の主なるものであつた。その他には新鮮なるミルクを供給すること、最も善い風紀の下に少青年を教鍊する機關を設けること、詐僞の株劵を賣步くものを摘發する機關を設けること、インターナショナル大學を建設して歐洲より飢餓に瀕しつゝある大學者を招聘すること、大きな野原を買ひ大學で管理する森林の宣傳所として用ふること、時期を定めて一般民衆の體格檢査を行ふこと、各學校へ供給する教育的フィルムを製作すること、不具者へ精巧なる義手足を供給することリーグ●オブ●ネーションに就いて大運動を爲すこと、バース●コントロールの智識を廣めること、兩親を教鍊する學校の設立、失職者を收用する大農場の設立、全國各小村落まで自由に音樂を聞かせる巡回バンドの優れたのを組織し且之を活用すること、各種娼妓及び花柳病絶滅運動に努力すること、死後の情態を研究する研究所の設立、カーネーギー圖書館に追加する書籍を買ふこと、アフリカに工業的、美術的ニグロの植民地を造ること、戰爭を遲ける運動の爲めに力を用ゐること、過勞の母親を休養せしむる基金に用ゐること、無

料で藝術及び科學の教育を無線電話で全國山間僻村に居つても受けることが出來る樣にすること等の諸考案があつて、その何れもが極めて眞摯卒直なものであつたと云ふ事である。

此の中には社會事業として最も必要なる家族保護、兒童保護に關することや、社會問題の中でも忘れてはならぬ婦人問題、勞働問題等がわざと除外されて居る。それは必要がないと云ふ理由からではなく、既にそれ〳〵完備されてゐて、今更特に問題とされるものではないからである。翻つて我國を見るに、その當然なる社會事業すらも發達せず、聲のみで實がなく、今日尙ほ問題とせねばならぬやうな情態にあるのは、最も遺憾と云ふべきであつて、是れ一は此種の事業に寄附金を提供する富豪、篤志家の極めて寥々たるが故である米國の社會事業及び教育事業と寄附金との關係を思ふて慚愧に堪ねぬ次第ではない乎。

米國に於ける成人教育（上）

田制佐重

一、米國成人教育の特徵

米國民は、元來民主々義の思想を懷いて居るので、各人の天分を尊重すると共に、寰境の改善、機會の均等を高調し、樂觀的、進取的態度を以て萬事に臨み、敢爲の志だにあらば何事が成らざらんや、否思ひ立つたことは成し遂げずには措かないといふ氣慨か橫溢して居る。教育殊に成人教育に對する見解及び實地の施設も皆此の精神より迸り出でたる觀がある。

蓋し米國には、前世紀の後半頃よりして人生四十歳猶未だ老ひずといふ考が一般に廣まり、人身の發育は成年期に至つて極度に達するが、人智の發育は終生底止するものでないとの考へが起つて來たのである。夫のエサリオット總長の如きは人生の晩年期は最善の時期であると說き、ドクトル●オスラーは人智衰頽期に關する問題を研究し、人間の頭腦は五六十歳に於て最も發育し、六十歳を超ゆるも尙ほ知識の修得を始め得べしとの學理的研究を發表して、當時一般の注意を喚び起したものであつた。此の方面の研究として特に最も顯著なるものは千九百〇八年に刊行されたニウマン●ドラヲンド氏の『智力發育の時代』と題する著述である氏は可なり代表的なる四百人の偉人名士に就いて調査研究したが、其の中で四十歳と五十歳との間に智力の進步の底止したものは、僅に四百人中の一割〇分二厘五毛、六十歳と七十歳との間に底止したものは三割五分、七十歳と八十歳との間に底止したものは二割二分五厘、而して八十歳以後に底止したものは六分であつたと報告して居る。此種の研究結果があらゆる方面から見て精確なるかは保證し得ないとしても、兎に角米國に於ては前世紀の後半、詳しく言へば、千八百七十年代より生命の發生學的研究が盛んに起り、敎育は人間の一生を通じて行はれ、智識修得は必ずしも兒童青年時代に限りたことでなく、成年期、否、老年期に在つても可能であるといふことを確信し、その確信の廣まり深まり行くと共に、また實際の上に於ても成年期等の敎育のために努力しつゝあることは爭はれざる確かな事實である。

勿論、米國が斯く成人乃至老人の敎育に熱心するに至つたのは、單に斯る理論や學說に刺戟されたものでなく、寧ろ米國の國民性及び國情といふ實際的必要から起つたことであると見るのが穩當である。換言すれば、米國の民主的思想、天然を克服し利用せんとする敢爲の氣象、開拓すべき富源の饒多、應用科學の進步文明利器の發達、外國移民の增加、自國內に於ける黑人の啓發、市民生活乃至自治體組織の急務等、要する

ば、米國の民主的思想、天然を克服し利用せんとする敢爲の氣象、開拓すべき富源の豊多、[illegible]に國民性及び一般の國情が敎育殊に成人敎育に多大の努力を捧ぐるに至らしめたものと見るべきである。然らば米國が從來如何なる敎育機關に依つて成人敎育を施し來たれるかと云ふに是れ又頗る多種多様の觀がある。就中その重なるものを擧ぐれば、大學擴張、ショートクア運動、夏期學校、職工學院、基督敎青年及び女子青年協會、通信學校、夜學校、補習學校、クーパ組合、リセアム、講習會、農夫學院等がある。是等の機關の中には、今日既に衰へたものもあるが、大體に於て潑溂たる活動を持續しつゝ以て今日に及んで居る。扨て是れらを通じてそこに四箇の目的を大別することが出來る。卽ち第一に主として實際的若くは職業的敎育を目指すものとしては、例へば職工學院、通信學校等を擧げ得べく、第二に市民的訓練を目的とするものとしては、リセアム、ショートクア運動等を數ふべく、第三に文化的敎育と市民的訓練とを兼備せるものとしては、第四に大學敎育擴張を目的とするものである。其の他、單なる文字言語を敎へて謂ゆる無學征伐を目的とするもの、又は圖書閲覽と遊戯運動の便宜を供して倶樂部の如きを目的とするものも數へ得られると思ふ。殊に勞働敎育を目的とする勞働大學(labor college)の如きは頗る見るべきものがある。

二、移民及び黑人の敎育

移民及び黑人の敎育は、彼等に英語の讀書を敎ふると共に、米國市民としての訓練を與へんとするものであつて、これは所謂アメリカンゼーションの運動と看做さるべきものである。一體外國移民が米國に夥しく渡米するに至つたのは、千八百四十五年以來の事であつて、爾來十九世紀の終りまで、三千萬の外國移民が米國に來住したと言はれてゐる。最近は每年百萬人の移民あり、それが大戰以來激減し、昨年度の移民制限案の通過後は一層減少したが、其の移民は目に一丁字なきもの多く、殊に大部分は英語を讀み書きし又話すこ

とが出來ないのみならず、彼等は概ね不熟練勞働者であつて、移住してから一定の職業に就き、そして生計を立てゝ行かねばならぬものである。殊に成年移民は其の風俗、習慣、思想等の非常に異れる新國土に移住し來れる結果、種々の困難を覺ゆることは言ふ迄もなく、是等移民の同化は言ひ易くして行ひ難き大問題である。然し米國人は非常の苦心と努力とを以て此の同化策を講じ、殊に紐育州ロチエスター市の如きは、主として無學なる南伊及び南露の勞働者が移住し來れる所であるから、千九百〇五年以來市當局は一定の方針と考案との下に成人移民に向つて成人としての敎育を施し、そして非常な好成績を擧げてゐる。卽ち第一に早晩米國民たるべき彼等に英語を敎へ、第二に彼等の生計を安全ならしむる爲めの職業的訓練を與へ、第三に米國の法律、習慣、思想、歷史の初步を敎へ、愛國的米國市民たるの敎養を與へてゐる。此の成年移民の敎育は市の公立學校に於て行はれ千九百十三年までに在籍二千五百人に達した。

一體無學征伐といふことは獨り米國に限らず現代諸國のモットーである。米國に於ては最近三四十年間に無學者の率を半以上減じた。卽ち千九百七十年に無學者の率は二割、同八十年に一割七分、同九十年に一割三分三厘、千九百年に一割〇分七厘、千九百十年に七分七厘と低減して來た。千九百十年のセンサスの結果によれば、十歲以上の白人、黑人、本國生まれ外國生まれの者にして無學者の總數五百五十萬人で、これが十歲以上の全國民の七分七厘に當つて居り、而して其のうち十歲乃至二十歲のものが約七十五萬人であるから、他の四百七十五萬人の無學者は成人及び老人であるわけだ。此の無學者の大部分を占めるものは南歐及び東歐の移民と南部諸州の本國生れの白人並びに黑人である。次に千九百二十年のセンサスでは無學者の率が更に減少したのであるが、而も千九百十七年より翌十八年にわたれる陸軍選拔試驗の結果、意外にも二十一歲乃至三十一歲のもの二割五分は英文の手紙も書けねば新聞もよく讀めぬといふ驚くべき事實を曝露した。

が更に減少したのであるが、而も千九百十七年より翌十八年にわたれる陸軍選拔試驗の結果、意外にも二十

即ち米國陸軍出征軍人にして英語の新聞が讀めず筋の通つた手紙を故國に送ることさへ出來ないものが四人に一人の割合であり、又軍隊の命令を解する程度の英語力の無いものが數千人もあつたと報告された。これは外國生まれのもの又は親が外國生まれの軍人であつた。尙ほまた米國民中英語を話したり解したりすることの出來ないものが凡そ五百萬人以上もあると云ふ事實が明かにされた。して見ると、千九百二十年のセンサスに於ては無學の率はさしたる減少を見ない結果となつたわけで、こゝに成人の教育、無學者の教育、英語を話し又は解し得ざる者の教育といふことが俄然として一般の注意を惹くに至つたのである。尙ほ之も今回の大戰に依つて端なくも曝露された事實であるが、二十一歳乃至三十一歳の米國出身軍人のうち三分の一は身體虛弱にして完全に軍務に服し難き者であるといふ事であつた。そこで千九百十八年十月に米國議會に所謂スミス・タウナー案が提出され、米國教育の中央集權制を確立し、教育省の新設を期せんとするに至つた今此の案たる教育省の毎年支出一億弗の中、特に成人教育に關係ある項目を擧げると、其のうち七百五十萬弗は無學者教育費、同じく七百五十萬弗は移民教育費、二千萬弗は體育及び保健教育費に充つると云ふのである。此の案は其後修正討議を重ねられ今日尙ほ未決定の儘に殘されて居る。

次に黑人の教育も略ぼ右と同樣の事情にある。黑人は米國市民たる資格を有し、其の人口は合衆國民全體の約一割一分（一九二〇年のセンサスに據れば一千〇四十六萬人餘）を占めて居るから、黑人の無學及び非市民性は移民問題と同樣に重大なる問題たらざるを得ない。南北戰爭後奴隷の廢止（千八百六十五年）されたる當時、黑人の無學率は九割五分內外であつたが、千九百年には五割五分五厘に減じ、千九百十年には三割〇分五厘に減少した。然し其の教育殊に成人教育は頗る幼稚である。唯茲に最近の問題となれるは、黑人の北部諸州來住がその勢ひを助長し、而も大都會に續々入込むといふ一事である。千九百二十年のセンサスに據

れば、北部諸州に在る黑人は百五十五萬餘人で、千九百十年のセンサス當時よりも四十七萬二千餘人の增加を示し、殊に北部地方十二大都市に在る黑人の數は、千九百十年に於て四十七萬八千餘人であつたが、十年後の千九百二十年には八十萬七千餘人に增加し、其の增加數は實に三十二萬九千餘に及んで居る。今後黑人就中その靑年勞働者に對する敎育は益々必須の問題となるであらう。（未完）

歐米の社會事業を視て（五）

關東廳事務官　藤田倶治郎

第十三、シカゴ、コムモンス

北米シカゴ市內に大きなセツトルメントが十八ある。沿革的に云へば、有名なアダムス孃のハル●ハウスが第一で、このシカゴ、コムモンスが第二である。本所は既に二十七年の歷史を有して居るが中心人物はテイラー博士である。視察した時は博士は旅行中で不在であつたが博士のお孃さんのテイラー孃が親切に案內された。本所は純然たるセツトルメント●ウオルク卽ち社會植民事業である。セツトルメントはこの頃日本でもそのまゝ用ゐて通ずるやうになつて居るが、要するに有識の士が極端なる貧民窟に住み込んで、彼等と相伍して共に語り共に樂み、彼等に正しい智識と淸淨な娛樂とを與へ、彼等の生活をして向上せしむる事業である。歐米にはこの事業が隨分多い。日本でも最近大部高調せられるやうになつた。喜ばしいことである。しかし此種の事業はとても比べものにならない程歐米では發達して居る。

一、本所はシカゴ市中の移民の中心卽ち移民區域の眞中にある。周圍に住んである者はすべて伊太利人とかポーランド人とかばかりである。

二、中心人物はテイラー博士であるが、專任の敎師が三十人あり、男女の大學生で之を助ける者が五十人ある。中十二人へは給料を出すが他はすべて無給である。

三、附近の學校の子供は學校から歸ると此所に來て心ゆくばかり遊ぶのである。之れには運動部とか水泳部とか繪畫部とか種々の組が出來て居つてその各部毎にそれぐ〵受持の指導者が居る。毎週音樂會を開いたり活動寫眞會を催して子供を樂ましめるのである。

四、設備としては講堂の外に室內運動場、水泳場、書室、料理室その他男女の娛樂室等が完備して居る。女兒の爲めには家庭向の料理その他を敎へる。

五、附屬事業として託兒所がある。勞働する母親が毎日七時に連れて來て、託して置いて、午後五時に受取つて歸る。親は毎日一人につき十仙(二十錢)を拂ふ。子供には毎日二時間午睡をさせ、晝食を與へ、お八つも與へると云ふ具合で、一人につき實費五十仙(壹圓)を要するといふ。故に親から十仙拂つても實費にも足りないわけだ。差額四十錢は本所の負擔である。

六、別に巡回保姆の制度があつて、一人の保姆が絕えず本所の附近を廻つて、小供の家庭を訪問して居る時には子供を本所に連れて來させて色々小供のことで相談に應じて居る。

七、婦人倶樂部もあつて子供の姉や母が毎週その倶樂部に集まる。人別種にして五組あるといふ。伊太利人だけは數が多いので三組もある。伊太利人とポーランド人は決して混ずることを許されない。本所に出入するにも時間を異にして別々である。

八、集まる子供のうちに若しも甚だしい惡事をする者があれば、少年審判所へ送るのであるが、大低のことは内部で適當に處斷して行くとのことであつた。

九、宗教は勝手自由とす。思ひ〱の教會に行く。之を一定しやうとすると集まらない。

十、一箇年の經費は四萬三千弗（八萬六千圓）であるが、中一萬二千弗は資金の利子で弁じ、他は有志の寄附に依る。本所に集まる子供（託兒所とは別）からは一日一仙（二錢）を徴收する。

第十四、ハル・ハウス

ハル●ハウスもシカゴの貧民窟の中心に在るセツトルメントであるが中心人物はミス●アダムスと云ふお婆さんである。此處は前後二回訪問した。一回は設備を見に、一回はミス●アダムスに會ひたさに。

（妻へ通信の一節）十一月十一日、今日は休戰記念日で、市中の主なる所は國旗を掲げて居り、方々で講演會等も開かれて居る。今朝は島津さんに紹介狀を貰つて有名なハル●ハウスのミス●アダムスを訪ふた。ミスアダムスも講演會に出かける前だつたが一寸だけ玄關先のやうな所で會はれた。心地の良いお婆さんだ。元氣なものだ。『大變失禮ですが、恰度出かけの所ですから……、午後お出で下さるなら、お目にかゝれます』と云はれたので、『ありがたう、しかし今日は此地を出立しやうと致して居る際ですから、とても再び參ることは出來ませぬ、場所は何方でも宜しい、少々この御事業についてお尋ねしたいのですが』と云つたら、『左樣か、ではまあ之でも御覽なさい』と云つて年報を一冊下さつた。それから秘書に命じて誰か手のすいて居る者を寄越すやうにと取計はれた。間もなく一人の青年が出て來て詳しく話して呉れた。實はミス●アダムスに一目でも會つたら此方の目的は達して居るのであるが序に慾ばつて色々聞いたのである……。

一、こゝに集まる者の八十パーセントは伊太利人である。
二、大學生が今八名來て居るが、篤志的に働いて居るのもあり、給料を出して居るのもある。
三、宗教は全然自由にして置く。
四、經費の五十パーセントは寄附に依り他は會費その他の雜收入で弁ずる。
五、此所に集まる者はすべて貧民の子弟であるが、不良少年が居るか如何といつて余が尋ねたに對して、青年の答へが面白かつた。『すべて善い子供ですが時に善い子供が惡いことをします』と。

第十五、サオス、エンド、ハウス

ボストン市ユニオン公園二〇番地のサオス、エンド、ハウスと云へば有名な社會事業の大家ウッヅ博士の住居である。余は大正十一年(一九二二)十二月十三日といふ寒い日に、同博士を訪ふて、一時間半に亙り悠つくり色々の意見を聽き、又事業を見せて貰つた。博士の事業は非常に大規模なもので、貸長屋もあれば、夜學校もあり、裁縫學校もあれば、各種のクラブがあり、ダンス場もある。而も經費の大部分は篤志者の寄附に依るものだといふ。余は時間の關係上問題の中心を禁酒問題、賣春婦問題及び戰後人心の傾向に限定して博士の意見を叩いた。之れに對する博士の結論はかうであつた。

一、禁酒法の結果の良好なことについては最早問題はありませぬ。しかしこの法律を完全に實行し得るまでには猶ほ相當の時を要しませう。
二、賣春婦のことは大なる社會問題です。日本の賣春婦も大きな問題ですな。
三、戰後女子の自由卽ち自分自らを保護する自由を要求することが非常に強くなりました。

余は尙米國の所謂クリスチアニテイーの如何なるものなるかを知るには如何にせば可いかといふやうな質問をした。所が博士の言はるゝに『クリスチアニテイーは理想であるから常に進んで行くものです。貴君が若し米國の大學に暫くでも入學することが出來るなら之を了解せられるでありませう』と。予は博士の言を聽いて、若し或る外人が日本を視察に來て、日本の武士道といふものを了解しやうと思へば如何にしたら可いかと聞かれた時、吾々は果して『貴君が若し日本の大學に暫くでも入學することが出來るならそれを了解せられるでありませう』と答へることが出來るであらうか、と思つた。

世界の結核豫防事業（上）

滿鐵衛生課長　金井章次

一八八二年、ローベルト・コッホが結核菌を發見してから、結核症か傳染病であることを疑ふものは全く跡を絶つた。併し社會問題として結核豫防策を論議する場合には結核症を以て單純に結核菌の傳染による疾病であると看做すことは誤謬である。結核の發生は生活の善惡と不離の關係を有し、都市村落の設計、住宅問題、榮養、勞働等の諸問題等と錯合的に考察せねばならぬのである。

今その一例を擧ければ、英國では一九一一年以前には結核豫防に就いて何等の考究を爲さす、隨つてまた何等の施設を實施して居らなかつたにも係らず、一八五一年に人口一千名に對する結核死亡率三・五であつたものが、一九〇七年には一・六に低下した。この事實は一般人民の生活程度が向上して次第に良好になつたと

共に結核病の發生が減少したことを明瞭にしたものである。

『結核は文明の暗影である、現在の文明國は無論であるが、假令過去に於てゞも何等かの意義に於て文明といふ文字を冠し得たる人種のみがこの慘害に見舞はれた、從つてアフリカや南洋の土人等は全く結核の慘害から超越した人種であらう』とは何人にも想像されることである。併し事實は全く之を裏切つて居る。成程野蠻人のうちには結核の慘害から免れて居るものもあるが、結核が一度彼の間に移植された時は、其の傳播勢は恰も燎原に放されたる火燄の如くであつて、その慘害の程度はインフルエンザ性肺炎に譬へられて居る程である。歐米の文明諸國に於ける結核は漸次過去に於て猛威を振ふた夫れと異なるの兆候を示しつゝあるに引代へ勢力日々に跼蹐しつゝある人種の間に於ては其の慘害洵に筆紙に盡し難いものがある。其の一例として我が北海道のアイヌ人種の間に於ける結核流行の一般を略記して見やう。

明治三十五年より四十四年までの平均數を以てするに、北海道にては全道の人口一萬に對し結核死亡率は一六・六八であるが、アイヌ人種に於ては人口一萬に對し結核死亡率六三・二である。即ちアイヌ人種は北海道に於ける普通日本人種の約四倍以上の結核死亡者を出しつゝあるのだ。更に肺結核患者に至つては、人口の約九・五%に相當し、十人に一人の結核患者の存在する割合となる。之を米國が一九〇〇年に人口一萬に對し結核死亡率二〇・一であつたものが、一九一八年に至りて一四・九に低下したのに對比すると、往古大和民族と覇を競ふたる彼等アイヌ人種の末路に就ては洵に同情に堪へないものがある。

結核より見たる國民と國民或は人種と人種との對比は今姑く問はず、同一人種或は國民の間に於ける結核に就いて研究するに、該病の多寡は貧富の程度、人口の密度、乃至は住宅の一人宛の坪數等に依つて支配されて居るのを見る。戰前の獨逸に於ける年收と肺結核死亡者との關係は

三千五百マーク以上	人口千人に對する死亡率	一•〇七
千マーク—三千五百マーク	同	二•〇一
一千二百マーク—二千マーク	同	二•六四
九百マーク—二百マーク	同	三•九三

之れと同樣の調査を曾て大阪府に於て實施したことがあるが成績も亦相似たものがあつた。結核の發生は人口の密度に比例して增加し、住宅の一人宛の坪數の少數なるほど多數なることは、各國に於て發表された調査の結果が殆んど全くその軌を一にして居るから爰には省略する。

以上列記した二三の事實は、要するに結核問題が單純に結核菌の傳染に因るとの見解を以て解決せられず苟くも結核菌の傳播を豫防せんと欲すれば、常に社會の一般生活狀態に深甚の注意を拂はねばならぬことを最も明瞭に最も正確に指摘して居る。次に結核問題の解決に資する爲には、菌の傳染に關する學理、免疫に關する事實及び原理、治療に關する統計等に就いて一言する必要がある。

結核菌が人體肉に侵入潛在しても直ちに之を以て結核病と看做すことは出來ぬ。結核病といふ以上は、尠なくも人體が結核菌の毒作用を蒙つて中毒症狀を示し、普通の健康に失調を起した時でなければならぬ。從つて普通の健康者にしても體肉の何處にか結核菌を宿してゐるものは決して少數でない。三十歲以上の大人に於ては七〇%以上といはれて居る。無論研究者によつて其の率に相違はあるが成人の過半數が結核的變化の所有者である事實は否まれぬ。この事實は結核菌なるものが身體内に侵入しても人體の制御力によつて征服せらるゝものであることを有力に立證して居るのである。この制御力を失ふて健康失調を惹起するものは結核菌に對する抵抗力に破綻のある者でなければならぬ。結核菌に對する抵抗力の失格者として列記すべき

の所有者である事實は否まれぬ。この事實は結核菌なるもの[illegible]
[illegible]であることが有力に立證して居るのである。この自[illegible]
ものには、先天性の羅病性體質者、年齢の幼弱なる者、糖尿病者、妊婦等である。されば結核豫防事業の範圍を無考慮に一般世人に擴大することは努力を盡した割合に效果が尠少である。近世の各國に於ける結核豫防事業が前記素因者に對して先づ第一に其の力を集注して居るのは當然である。

次に結核に對する吾人の抵抗力卽ち免疫は對結核策の根本を左右する問題である。免疫は之を血清及びワクチンの使用に依る人工免疫體質並に羅病に關係して起る自然性免疫との二種に分つことが出來る。結核に對する血清ワクチンの治療及び豫防法は世人は無論のこと專門家さへ其の名稱を記憶することの出來ぬ程に無數である。同一疾病に治療法の數の多いほど有效なる療法のない證據である。結核に對する人工免疫は今日まで報告されたものゝ中で一般の承認を經た有效のものは一つもない。

羅病に關係ある免疫の內、今日の學說中稍や信據するに足るものは、生菌が體內の何處にか存在するとき免疫が存在し得るとの說である。この說はコッポが『モルモット』に於ける實驗と、テン●ベーリングが手に於ける實驗とを基礎とし、之れに臨床上より遭遇したる實例とを參考して唱導されたものだ。

近世の對結核策の實施の結果による結核患者の死亡、輕快、治療等に關する統計的事實を參照することは今後の結核豫防事業に對し大なる參考となるから、以下之れに就いて述べる。

米國の結核豫防協會が一九二一年に全米の『サナトリアム』五六箇所に就いて二、四五九人の患者を調査せる成績によるに、內六四三人(二六%)は退所後死亡し、一、八一六人(七四%)は生存し居つた。作業能力に就いては三五%は依然として結核に惱み、一九%は折々發病し、健康體に復したものと思はるゝのは二〇%であつた。上記の率は非常に正鵠なる適應率とは云へない。療養所や『サナトリアム』等の治療成績は入院當時の患者の病狀の輕重に從つて大なる相違を來すべきは瞭かであるが、普通結核の治療は初期を除くの外甚だ

困難で、多數のものは作業能力の低下を來たすこと疑ひない事實である。この事實は對結核策の根本方針を左右するもので、治療成績の良好を期する爲めには、早期診斷を普及せしめて初期患者の發見に努むること『サナトリアム』を建設して初期患者の治療を行ふこと等を必要とする。更に一程度以上に進行せる患者に對しては、治療の困難なる爲め、その根本方針としては患者を隔離して他に傳染するの機會を出來得るだけ輕減ならしむる必要がある。尚又た結核患者は一旦『サナトリアム』乃至療養所を退所した後と雖も就業能力の低下を來すこと前記の如く多數なるを以て、之が救濟を目的として結核聚樂、保養所、患者ホーム等を計畫すべきである。是れ本病に社會施設の必要なる所以である。

結核豫防事業は總べての結核性疾病に對して講ずるものと誤解してはならぬ。同じく結核性の疾病であつても、關節結核とか、結核性肋膜炎とか、何等直接感染の危險なきものは、結核豫防事業に大なる意義を持つて居らない。一般世人に對し危險なるものは咯痰中に結核菌を排出する謂ゆる開口性の肺結核患者である同樣の意味に於て咽頭結核患者も亦危險であつて此の患者にも大なる注意を拂はなければならぬ。そこで上述した結核に關する基礎事項を土臺として、海外に於て試みられつゝある對結核事業の一般を摘記し、併せて滿洲に於ける本事業の性質に就いて平素抱懷する一端を記述したいと思ふ。

一、サナトリアム

對結核の目的を以て建てられたる設備として最も古く計畫されたるものは千八百六十二年ブルメルかゲルベルドルフに設けたものである。米國に於てはトルドーが夙に實行し又英國に於ては一七一一年に結核專門の病院が建てられた。當時に於てはコッホが結核菌發見の以前であつた爲め結核症か傳染病かと云ふことに

は餘り注意せられなかつた。心臓作用が微弱であるとか、身體の榮養が不良であるとか、さう思惟された爲め、主として日光榮養等に重きを置いた治療法を行ふたものである。その後、結核菌の發見せらるゝや、結核患者を取扱ふこと宛然チブス、コレラ等の傳染病患者を取扱ふと同樣になつた。結核の傳染を防禦する方針を以て各種の設備を行ひ、併せて之に對する免疫乃至は藥餌、化學療法等を試みた。結核病院、病棟或は病室等の設立が盛んに行はれたのは結核菌發見以後のことである。

然るに結核の治療を目的とする前記の病院設立は當初の期待を裏切つた。結核の治療は免疫並に化學療法の方面が遲々として著しく進歩しない。榮養食餌を主眼としたブルメール法卽ち『サナトリアム』療法の效果は依然として權威あるものであつた。『サナトリアム』以外の結核病院の效果は患者を隔離して他に傳染の機會を尠なからしたことに於て有效に利用せられてあつた。但し結核の流行を阻止し得た程度に就いては何人も積極的證左を提出することは不可能である。獨逸の帝國衞生評議會は左の決議を發表した。

結核傳染を防止する爲めに肺結核患者について其の輕重を究め、而して特に重症者を適當なる病院に隔離する必要がある、而して此の目的を達成するには

一、重症患者の爲めに一定の地をトして特別の病院を設立すること。

二、前記の方法にして採用し難きときは一般病院內に別棟の收容所を設くること。

三、前記一及び二の方法を實現し難き時は患者を病院內の一部に收容すること。

日本政府が法律を以て人口五萬以上の都市に結核療養所を設置せしめんとしたのは、政府の對結核政策の第一義であつて、此の第一義的政策を執ることになつたのは、之れを要するに、貧民階級の重症者を收容して結核傳染の機會を減少せしめんと企てたものに外ならぬのである。

二、結核病院乃至療養所

病院乃至療養所設置の趣意に就いては前項に於て既に一言した。病院としては患者を收容して治療に向はしむることが根本の趣旨であることは今更言ふまでもないのである。肺結核に對して免疫化學療法は無論のこと、普通の投藥療法と雖も大なる期待を置くことが出來ぬので、結局は隔離といふことが主要目的となるのである。結核病院が治療上の成績を擧げんとすれば設備の上に『サラトリアム』の趣意を取り入れねばならず又『サナトリアム』に於ても其の一部に病院としての設備を置くの必要がある。

貧兒に給食

文部省普通學務局では社會施設の一つとして特殊兒童の保護敎育に專ら力を注いでゐるが中にも親が貧困の爲め就學することさへ出來ない憐れな子供達にどうにか就學の途を講じてやり度いと計畫中であつたが此たび同省の不良兒童の感化事業と相俟つてその方針が決定されたその第一階梯として文部省當局最近の調査に依ると學齡兒童總數男五百六十七萬九千六百五十九人、女五百四十一萬七千八百七十九人、合計一千一百九萬七千五百三十八人、中不就學兒童數十四萬七千五百四十九人、全然一度就學しないもの五萬四千九百七十三人、就學後猶豫免除となつたもの九萬八千四百五十九人、貧困の爲め就學出來ない者の總數約三十萬人に達してゐる之れから見て差當り保護敎養施設中重要とされてゐるのは先づ給食問題であつてこれに依つて榮養不良を救濟し完全な心身の發達を助長させることである英國などには學校食物公給條例があつてそれが全國的に實施されて居り此の他佛米獨でも給與制があるので我が國でも遲れ馳せながら此の施設を企てたのだが此の食物公給實施に對し來年度から之れを行ふべき所要豫算を計上することになつた因みにこれに要する經費は總額で六百萬圓を要するので各府縣並びに市町村で各三分の一位づゝ負擔せしめてはとの內議があるが未だ確定されず愼重協議中であると。

當面せる我國社會上の重要問題

柴田博陽

都市へ、都市へ、と今日の青年男女が競ふて都市へ集中するは、單に吾が日本ばかりでなく、米國の如き特に此の傾向が著しい。現にカリフォルニアの如き豊富なる富源を有する地方でさへ、農村を捨てて都市に向ふもの多く、夫れが爲め農業は日本人やメキシコ人の手に移り、其の結果、遂に極端なる排日の聲を聞く様になつたのである。米國の如き商工業の盛んなる國では夫れで好いかも知れないが、農業本位の現在の吾が日本において農村より都市に移るものが多いのは、寔に憂ふべき現象である。都市への人口集中が如何に我が農村を衰頽し荒廢せしめたる乎を看よ。成程今日の如き經濟組織にては、農村の疲弊は免かれ難い趨勢かも知れないか、多くの青年男女が吾も吾もと競ふて農村を振り捨てゝ都會に集中するのは眞に憂ふべき現象である。

且に霜を踏んで田園に出で、夕に月を頂いて家路に就き、粒々辛苦、額に汗を流して働くも、その得るところは僅かなものに過ぎない。殊に小作人に至りては、常に絶えず地主に虐げられ、如何に努力し勞苦するも一家を支ふる事さへ出來ない有樣である斯くの如く自己の生存權すら脅かされて居るものゝ多い今日の農村であるから小作爭議の起るは當然のことゝ思ふ。私は先頃故鄕に歸り農村の痛く疲弊せる實狀を見て驚いた。故鄕の長老は嘆じて曰く『敎育の普及は如何にも結構な事です、中學校と女學校とは殆んど各郡に一箇所位の割合を以て增設されました、高等學校も出來、專門學校も設けられました或は農林學校の如き、或は蠶業學校の如き特種の學校も出來ました、併しながら此の學校の增設は農村の子弟をして却つて農村を捨てさして了ふやうな結果になつて來ました』と。却つて敎育の普及を呪ふやうなことを言ふので、私は益々驚くと共に、之れを僞らさる告白であると考へた。又私の親戚に本年高等小學校を卒業した十五歳の少年がある。親は農

業手不足の爲め本年より一人の働き手が加はることと喜んで居た甲斐もなく、本人は農業を嫌つて師範學校に入つて修學したうへ小學校の敎員になる決心である、と親に向つて强硬に談ずるのであつた。餘りに熱心なので、親も我を折り、何れ入學試驗に於て落第すれば本人も斷念するだらうと、心に落第を祈りつゝ受驗を承諾したところ、幸か不幸か、この少年は試驗に首尾能く及第し、望み通り師範學校に入學して了つた。高等小學校の卒業者ですら此の通りだから、況んや夫れ以上の學校に於て學びたる農村の青年においてをやで、私は是等農村の青年子弟が敎育の普及した爲め却つて農村を見捨てると言つた故鄕の長老の嘆を成程と思つたのである。

地方に農林學校が設けられるのは其の地方の農林奬勵が本來の目的である。然るに其の結果は何うである乎、農林學校を卒業した多くの青年は果して專心その業に從事して居るであらう乎、と云ふと、全くその反對で、是等多くの卒業者は洋服を着け靴を穿き、直接に農林の業に從はないで、寧ろ此種の學校の敎壇に立つことを希望すると云ふ珍現象を見るに至つた。蠶業學校も亦然りで、之がため地方の父兄は却つて此等特種の學校に子弟の入學することを喜ばぬ樣になつて來たとは、何と云ふ皮肉な現象であらう。或る雜誌に『眞劍に百姓すれば嫁が來ず』と云ふ川柳が載せてあつた。本當に其の通りで、僅か十七文字の此の狂句は、農村の味氣なさを唄つたと同時に、遺憾なく今日の女子敎育の弊を諷刺したものと云へる。敎育の普及が却つて地方の青年を農林業に遠からしめたのみならず、女子敎育普及の結果は、女子までが田舍の親しみを離れて虛榮の多い都會に憧がれるやうな始末となつた。斯くの如く男も女も農村を嫌ふ樣になつては將來の日本は何うなるであらう乎。左もなくてすら每年六七百萬石宛も不足する米といふ一番大切な糧食が益々不足するは勿論、荒廢に頻した農村を一層荒廢せしめ、而して人口の都市集中は種々の社會問題を發生せしめ、國家の上に悲むべき結果を招徠するだらうと思ふ。且此の現象は農村の上にも更に惡い結果を齎らす事になる。現に或る地方にては小作爭議の爲め、又或る地方にては青年男女手不足の爲め、到る處に田畑の荒廢を見るに至つたと云ふ有樣である。二十年前までば耕地整理、開墾事業など盛んに奬勵された農村も

其後之を打捨て、今は空しく荒廢のまゝに委棄されて居ると云ふ悲惨な有様を呈してゐる。

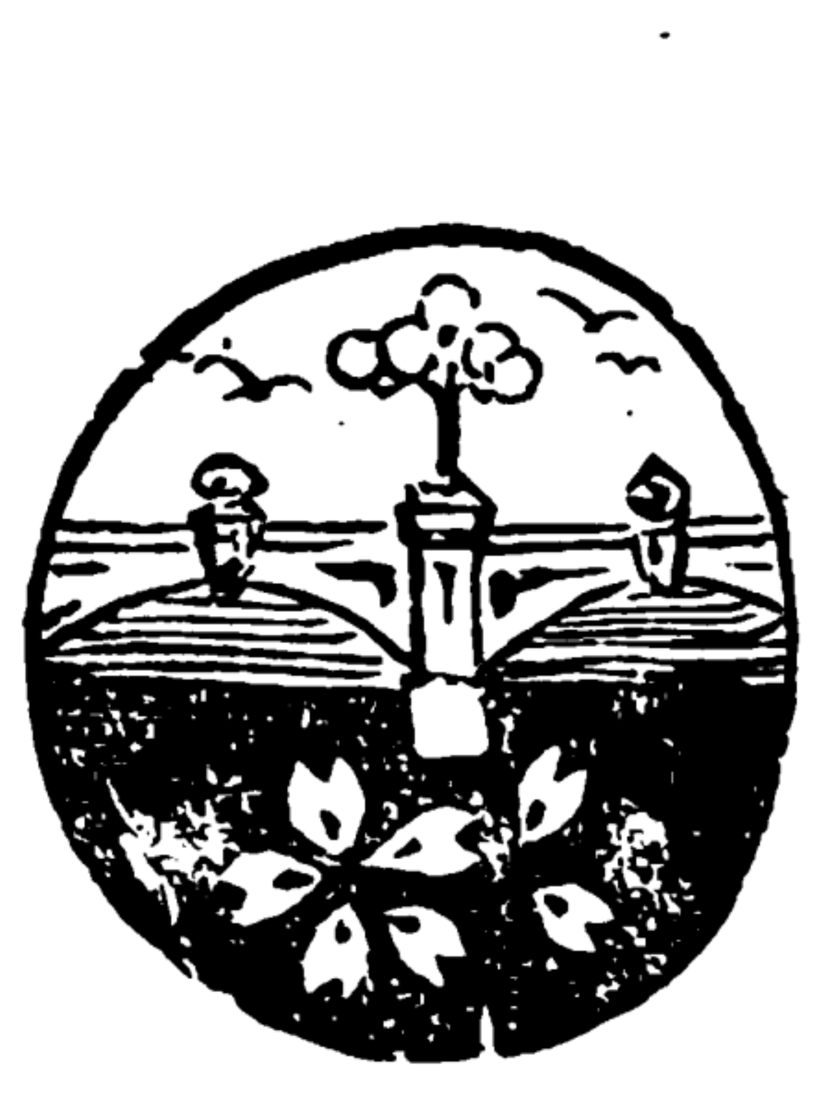
飜つて都會を見れば何う乎。吾に職を與へよ、吾にパンを與へよ、と職を漁りパンを需むる者が職業紹介所に殺倒して居るのが今日の社會狀態ではない乎。遠い内地の都市のみではない、現に我々の住むこの大連に於ても、昨年一箇年間の求職者のみにても二千二百三十五人といふ多數に達し、而もその過半數は職に有り付けず、而して是等求職者の大部分が相當の教育を受けたものであると云ふに至つては教育の任に膺る者の餘程注意しなければならぬ事と思ふ。年々六七十萬宛も人口の増加する吾國に斯くの如く多數の失業者を見ると云ふことは、實に當面せる社會上の重大問題で、人口の都市集中が如何に禍であるかを雄辯に物語つたものと言へる。生活の餘地ある農村を捨てゝ漫然都會に乘り出し、或は又徒手空拳で遠く海外の地に飛び出したからとて、容易に好い地位や利益を得らるゝもので無い。況んや一智半解の智識を以て滿足に生活せんと欲するが如きは無謀も亦甚だしと言はなければならぬ。都會を去れ、而して故郷に歸れ、田園に還れ、郷等の父と母とは郷等の歸去來を待ち、荒廢せる田園は郷等の歸り來つて耕さんことを望んで居る。私は農村より都會に迷ひ出でたる青年男女に一日も早くその郷里に歸らんことを勸告する者である。

編者曰く、此の滿洲にも農村を厭ふて續々渡來する青年男女あり、而して彼等の多くは不況の折柄何れも職にあり就けず、幸ひに職に就くも滿足なる地位を得られず、給料も極めて安く、隨つて不平滿々たり、斯くして一方には農村を益々衰頽せしめ、他の一者には失業者を増加せしめ、猶ほ之れが爲めに不平の徒を多くするは、柴田君の言はるゝ通り、實に當局せる我國社會上の重要問題と謂はざる可らず、今や内地においては農村振興の聲高まり來り、政府も政黨も農村振興、農業奬勵を政策の一に加へ居るも、その具體的方法に至りては未だ之れと言ふもの無きが如し、昨年米國のフオード博士は日本に來り『丁抹の農業』を說きて我が國人に警告したるが、都會にのみ憧がるゝ今の青年男女はこれを馬耳東風と聞き流し居るといふ有樣なり、商工立國に走りて英國の如く農村を荒廢せしむるは眞に憂ふべき現象なり。

憐れ不良少年

◎滿洲の日本人間にも不良少年が殖ゑて來たと云ふのは憂ふべき現象でその原因については愼重に研究する必要がある◎申す迄もなく不良少青年には先天的と後先的との二種類があつて前者は遺傳に基づくので有るから生理學的にその性能を究めると共に特殊の感化教育を施す事にせねばならぬ◎後者卽ち後天的のものは家庭の惡いのが主たる原因でそれから社會の惡い環境に支配されて發作的に罪を犯すのもある◎繼母の手に育つた少年の多くはその心が邪けてツイ惡い事をするが夫れは寧ろ繼母の罪だ◎夫婦の和合せぬ空氣の濁つた家庭に育まれる少年少女は知らず識らずその純なる天眞を汚されて不良性の者となる◎細民窟の子供がボタハヂキと成つたりカツパラヒと成つたりするのは其の細民生活が餘りに非衞生であり不道德であるからだ◎故に此種の不良少年を減少させ樣と思ふならば細民窟に淸い空氣を送り細民の所謂どん底生活に救濟の手を伸ばさねばならぬ◎社會事業の一なるセツトルメントは則ち此の救濟の使命を全うすべきもので一種特別の敎化事業であると云へる◎プロ階級よりもブル階級から比較的多くの不良少青年が出るのは如何なる故がと云ふと夫れは重に家庭の不純に歸因するらしい◎『お父さんは能くお酒を飮むよ醉拂つて夜遲く歸る事があるよそしてお母さんと喧嘩するよ』斯うした言葉をブル階級の子供の口から往々聞かされる事がある◎斯う語る少年の心は既に汚されて居るのだ既に汚されて居るから軈ては酒に親み女に近寄る樣になるのである◎夫は藝妓や妾に耽れ婦はそれを快とせずして遂に家庭の圓滿を損ふところに愛の宿る筈はない◎愛なき家庭に育つ子供はその心を荒廢して邪道に踏み入り誰れ敎ゆるともなく惡い事をする樣になる◎餘りに嚴に失すれば萎縮し餘りに寛に失すれば增長するのが人間の特有性で少年少女は殊にさうで有るから愛を家庭に普遍させるには餘程の注意を要する◎仕たい放題にさせて我儘自儘に子供を育てるとその子供は放縱になりその放縱が第二の性となつて不良兒となる◎不良少年は活動寫眞から生まれると云ふがさう限つた事ではない家庭が寧ろ根源地だ◎少年の犯罪は直ぐ之を法律的に拘束しないで社會的に氣永く矯め直すことにしたいものだ。

白十字會の夏期聚落



白十字會の夏期聚落

在東京　ＴＹ生

結核病の豫防撲滅を以て目的とする社團法人白十字會は明治四十四年の創立に係り、目下その事業としては結核早期診斷所、林間學校、結核相談所、圖書出版、機關雜誌發行、結核患者外來診療、結核豫防講演、結核通俗講習會等を經營しつゝある。現在我國には日本結核豫防協會を初め三十餘縣に同種の團體が設立されてあるが、白十字會は實に斯業の嚆矢を爲せるもので、既に宮內省からも數回奬勵金を下賜せられ、內務省、東京府、東京市等からも今日まで十數回に亘つて助成金や補助金を下附されて居る私設の一社會保健機關である。

同會附屬の常設林間學校は大正六年に設置せられ既に九箇年の星霜を閱し、震災前には六十名の兒童を收容して居つたが、災後一般兒童の健康著るしく毀損せられ、林間學校の必要益々喫緊を告げつゝあるにも拘らず、民力疲弊の結果、收容力の半數を滿すに至らざるのみならず、半途にして震災の爲め同校を退きたる兒童の健康も氣遣はれるので、同校は主として此等の兒童の爲め昨年臨時夏期聚落を催すことに決し、生徒を募集したところ、之れも財界の不振に累せられたると、廣告等を爲さゞりし爲めとにて、辛うじて三十名弱の希望者を得、更に身體檢査の結果、入學を承諾したる者は僅に二十一名に過ぎず、此點は甚だ遺憾であつたけれども、然し遺漏なく兒童を敎養し得たる點より考ふれば幸福であつたと云へる。左に其の概況を記さう。

先づ入學資格から言へば、尋常二年より昨年六年を卒業したる者で身體檢査に合格した者とし、次に期間は七月二十五日より八月二十八日まで五週間と定め、場所は相州小和田の白十字會林間學校內とし

學費は四十圓と定めた。職員は白十字林間學校職員全部の外臨時に囑託したる女敎師が二名あつた。同會の結核早期診斷所に於て校醫の選定を經て入學したる兒童二十一名は七月二十五日學校に之を收容し卽日改めて一齊に身體檢査を行ひ、翌二十二日より正規の課業に入らしめ、越ゐて八月二十八日には最終の成績を檢する爲め、午前中に重ねて一齊身體檢査を行ひ、午後終了式を擧げ、それから餘興の對話を演じて後隨意退校せしめたのであつた。

次に敎養方面の情況如何と言へば、常設の林間學校と夏期聚落とは元來その目的を同うせず、夏期聚落の目的とする所は、夏期に於て動もすれば陷り易き不攝生なる生活より兒童を遠ざけて、衞生的に規律ある生活を興味を持つて行はしめ、幾分にても彼等の健康を增進し、兼ねて學科の復習をも爲し、來るべき第二學期に入る彈力を與ふるにあるのである叙上の目的の下に愉快に日を送らしむることに就いては非常に苦心して五週間のプログラムを編んだのであつた。學科の時間は午前八時より十時までの二時間にして、主として復習殊に兒童が所屬學校より課せられた宿題の研究を爲さしむることゝし、其等

の終りし者には時間制による學科の復習を爲さしめたのである。尙ほ課外の講話には趣味ある地理、歷史及び理科の話を加へた。（日課時間表略す）

毎日午睡後から檢温までの時間（二時—二時半）を交互に兒童の談話及び唱歌會、敎師の講話、蓄音機等兒童團體の娯樂時間に宛て、海岸へは毎日夕食後（六時）に行くことにした。それにしても同一步調を以て之を繰返すのでは、自然平調に流れる虞れがあるので、日曜日の夕食は相模灣を一眸に收むる丘上若くは海氣豊かな波打際にて攝らせ、尙ほ五週中毎週それ〲特別なる催を加へたのである。先づ第一週には入學後の感想を各自に綴らしめて一卷と爲し明治天皇祭當日に一般兒童に讀み聞かせたる後、讀書室に備へて置いて之を縱覽に供した。第二週には兒童中より遊戯委員を擧げ、該委員に於てプログラムを定め、然る後團體の遊戯を爲さしめた。第三週には圖畫・手工の展覽會を開き、當日までに之を作製して展覽會委員に提出せしめ、委員は陳列及び會場整理の任に當り、一般縱覽の便を圖つたのであつた。第四週には十八人の男女兒對話『小鳥の裁判』を催した。そして第五週の終了式當日には成績最優良

者に優良權を授與したのである。以上は兒童をして其の當日を期待せしむると同時にそれに至る過程を敎育の機會として利用せんが爲めに行つたのであるこの外、朝露を踏みつゝ海岸に莊嚴なる日出を迎へ又は奇術師の妙技に驚きの目を見張らしめ、又は無邪氣な討論會に大々的の氣焔を吐かしむる等、兎に角單調に陷らぬやう努力したのである。

昨年の夏期聚落は同校として首めての試みなので其の結果如何は隨分案ぜられたさうであるが、廣瀨校醫の調査によれば、二十一名の兒童中二十名まで體量が增加し、而も平均增加が一斤以上に及び、其の成績の決して不良ならざることが立證された。又敎育の方面に關しては、僅かに五週間の短期間なれば、成績に多くを望むのは素より困難である。それで學科は復習を主として課外に地理、歷史、理科に關する講話及び童話を授け、殊に學習に對する態度の指導と習慣の養成には初めより大いに意を拂つた然るに兒童の學習の態度は頗る熱心であつた。それは野外に於ける學習の爽快なると學習時間の少ないことにも因るが、一學級の兒童數極めて僅少なるが爲めに敎師は個々に十分指導する便を得、兒童は互に聞き合ひ敎へ合ひして、時に談笑を交へながら學習するを得たに由ること最も大なりと信ぜられた。然しそれは課せられたる學科に就てゞある、命ぜられたる仕事に就てゞある、熱心は熱心でも消極的である。それで何うかして積極的に自發して要求せしめる樣に努めたいと考へて居たところ、幸ひにして回覽雜誌を作つたことや、展覽會を開いたことや、討論會、談話會を始めたことが、彼等の製作物や學習の行先を明かにする點において大いに意味を生じた兒童の學習には如何にしても近き標的が必要であるそれによつて學習の態度が極まり、興味も起り、工夫も生れるものであるとの感を深くせしめた。此等の施設が如何程まで彼等の學習態度を築いたか、と云ふことは數量的には示されぬが、海岸への往復に農作物や昆虫に就いて研究的質問をしたり、又は簡易兒童文庫がよく利用せられて不審ある每に傍の敎師に尋ねたりする事に依り、多少の反應があつたと認められた。然し此等は寧ろ同校の當事者に殘された今後の研究問題であると云へやう。

兒童の中、健康增進に於て、學習態度に於て、將た操行に於て、共に優良なりし者に優良旗を授與し

た。此の名譽を得たものは四年生の磯部忠良であつた。本人の得意はさる事ながらそれにも增して歡喜に溢れたのは當日參列したる祖母であつた。尙ほ終了日に近づき兒童に聚落中に樂しかつた事、つまらなかつた事に就いて、各自に赤裸々に新思想を述べしめたが、それによると、樂しかつた事として海水浴、海岸においての砂遊び、遊戲會、しののめ會、野外の食事等の順序に算へられ、面白くなく又つまらなかつた事としては體溫その他の都合で前示の場に參加されなかつた事が擧げられた。

全露勞働組合會議の狀況

賃銀問題、失業問題、其他を議した

第六回露國勞働組合會議は昨年末モスカウに於て開かれた。會議の主務は一八二二年九月の前會議以來今日に至るまでの全露評議會の方針を承認し、且將來執るべき方針、特に賃銀、生產能率及び勞働市場の組織改變に關する方針の要綱を定めるに在つた議事の模樣はソヴィエット露國における現時の生々しいその社會情態如何を知るの一資料と爲すに足るべきを以て、左にその梗槪を摘記する。

賃銀問題　賃銀問題は會議の討議の大部分を占めた。代表委員等の述ぶる所に依れば、大規模の產業に於ける賃銀の支給は今尙ほ甚だしく遲れ、之が爲め旣に困難して居る勞働者の情態は見るに忍びざる情態である。金屬工組合ウクライナ部の代表者は國有金屬工場に雇はれて居る勞働者の六割が賃銀の受取を三四週間遲らされて居ると言つた。ドネツ盆地より來た鑛夫代表者もまた賃銀支拂の大延滯を訴へ九月分の賃銀が十一月初に至るも支拂はれて居ないと言つた。今一つの苦痛は、賃銀の六割乃至十割が消費組合宛の商品切手の形式で支拂はれ、當該產業は最後に此の消費組合に再支拂を爲すことであ

る。一代表委員は勞働者が之が爲め常に組合費を支拂ふに必要な現金すらも有しないと指摘した。次表は一九二四年一月一日及び六月一日の一箇月分賃銀の表記價格と實際價格とを示したものだ。

	一九二四年一月一日		一九二四年六月一日	
	チェルヴオネッツルーブル	戰前ルーブル	チェルヴオネッツルーブル	戰前ルーブル
諸産業ノ平均賃金	三四・四六	一八・五三	三七・七一	一八・四四
金屬工賃銀	三六・一二	一九・四三	三八・九一	一九・一〇
鑛夫賃銀	三一・六二	一七・〇一	三六・四八	一七・九一
纖維工業勞働者賃銀	三〇・六六	一六・四九	三一・六六	一五・五四

勞働大臣が當會議へ與へた報告に依ると、一九二四年十月の金屬工の賃銀はその戰前賃銀の五割六分纖鑛工のは約九割一分、鑛夫のは五割二分であつた又同日に於て鐵道從業員の賃銀は戰前のものゝ五割俸給被傭者及びソヴイエット官吏の賃銀は四割五分であつた。通貨の改正と之れに伴ふ生活費の騰貴により賃銀の實價格は減じたが、全露評議會長トムスキー氏の談に依ると、此の實價格の減少は勞働者の物資的幸福の上に恐ろしき影響を及ぼした。之と共に安定した通貨により賃銀を支拂ふことには或る種の利益が伴ひ之れに依つて其の改革の不利益な結果を幾分相殺したとの事である。

全露評議會の現方針としては、一般平均以下の賃銀を出して居る大規模産業及び運輸業に於ける賃銀を高めること、平均以上の賃銀を支拂つて居る産業(例へば纖鑛工業及び一般の燈火供給業)に於ては賃銀値上を延期すること、此の二方法を實施するに努めることになつて居る。賃銀の總値上は最近の諸報告が等しく不可能とする所である。産業の情況及び一般經濟情態から見て、若し生産能率(特に勞働者の個人的生産能率)が販賣價格の引下げを許す程に増加しさへすれば、何産業でも賃銀を増すことが出來ると言はれて居る。尙ほ全露評議會は賃銀制度の標準を定める爲め會議を十七段階に分ち而してその第一段階と最終段階内の比率を一と八とする單階率を一般に採用せんことを勸告した。

△生産高の問題 勞農政府、共産主義インターナショナル及び全露評議會の代表者等の報告は、何れも全露國に亘り生産高を増加することの重要なること、並びに生産費の減少を絶對必要とすることを力説した。チノヴイエフ氏は共産黨中央委員會を代表して、生産高=勞働者の個人的生産能率=

が勞働階級並びに農夫の間の一切の關係の基礎となるものであることを聲明し、『生産高が勞働者のみによつて左右せられるものでないことは明白であるが然し大部分恐らく五〇%までは勞働者によつて左右せられる、吾々は八時間作業制を完全に利用する爲め働かなければならぬ』と說いた。

內閣首領ルイコフ氏もその演說の大部分を此の問題に費した。曰く『生産高の問題は吾々の國民經濟が第一着手に解決しなければならぬ問題である、他の改善、例へば設備の更新とか電化と云ふが如きものは何れも莫大の資本を必要とする、經濟的再建に關聯する重大な他の仕事を企て得る爲めには速に生産高を增加しなければならぬ、且それ無産階級執政權の維持も大部分此の問題を滿足に解決し得るか否かによつて定まるのである』と述べた。

然るに其後の討議により會議中に相反する二傾向のあることが知れた。多數の代表委員は生産高增加を絕對必要事であるとする全露評議會の見解を支持したが他の代表委員等は生産高が勞働者の個人的生産能率に依るものでなく企業の設備と一般經濟情態によつて定まるものであるとする見解を執つた。然し議員の大多數は全露評議會の見解を支持した。但し勞働者の個人的能率が一般生産高を定める基本的諸要件中の一なることは之を認め、個人的能率を增すには八時間作業制を完全に善用し、一般にピースウォークの原則を採用して、生産に對する勞働者の興味を喚起する方法に依らなければならぬとの見解を執つた。此の見地からすると時間極め賃銀は必然に生産高の減退を起すと云ふことになる。

△就職と失業

就職と失業とに關聯して會議に上つた種々の問題の中で最も重要なのは女子及び年少者の勞働と職業紹介制度の改造に關する問題であつた。露國には今尙ほ失業者が多い。失業者が多いのは各種の産業が成人勞働者のみを應用して生産能率の低い年少者並びに女子を顧みない傾向があるからだ。年少勞働者及び女子勞働者を應用するには、夜業の禁止、危險なる職業に於ける作業の禁止等、之等の制限が勞働法によつて課せられて居る爲め此種の勞働者は仕事を見出すことが一層困難である。産業勞働者中に於ける女子及び年少勞働者の割合を見るに、女子に於ては一九二二年の五九・五%より二七・五%に減じ、又十四歲乃至十八歲間の年少

勞働者に於ては五・五%に落ちた。

會議は此の事態を以て産業に危險であると考へた特に將來の勞働者を補充する上から見て年少勞働者の情態を危險であると考へた。次の諸數字に依り年少勞働者の産業に應用せらるゝ者の率が絕ゑず減少し續けて居ることが知られる。

一九一四年一月一日	一〇・六%
一九二一年七月一日	九・四%
一九二二年七月一日	五・四%
一九二三年一月一日	六・五%
一九二四年一月一日	五・五%

此の事態を改善する爲め會議は女子及び年少者の夜業並びに危險又は不健康なる職業に於ける作業に關する勞働法典の制限規定を改訂せんことを提議した。全露會議機關紙トルードは此の決定を見て『勞農政府の執政から生ずる經濟的必要と政治的考察に依り、女子及び年少勞働者を産業より組織的に除外することは吾々には寛容出來ない、會議の諸決定を實施することは勞働立法の見地からは退歩であるが此の弊害は女子及び年少者間に失業者の增加すること、之れに伴れて浮浪少年が殖ゐること、窮迫から賣春者の殖ゐることに較ぶれば、女子の經濟的獨立が益々奪はれる點は暫らくこれを措くとしても、その弊は寧ろ少ない』と論じた。

産業に於ける年少者の割合は七%が要求されて居る。此の率は若干年前定められたものであるが今日に至るまで變更されて居ない。會議は各企業が右の七%の率を維持せんことを主張した。更に會議は失業基金に對して支出を要求し得る保險基金より職業學校に對し或場合には補助金を交付せんことを提議した。尙ほ一般失業者に對しては、會議は之が唯一の有力な救濟策を産業の發展にあるとし、そして現在の經濟情態では、生産高の增加による生産費の低減が行はれるに伴れ、また經濟情態が平衡を得るに伴れ、右の發展が極めて徐々に甚だ緩漫に行はれ得ると云ふ所信を記錄に留める事にした。

△職業紹介

會議は勞働省の政策を是認し勞働紹介所に代へて職業紹介所を設ける件を支持した。尙ほ右の紹介所は國家のみ之を組織し個人使用者も國營企業も之を設くることを許さないことにせよと主張した。勞働組合による職業紹介所設置の問題は今後の討究に殘された。

△社會保險

勞働大臣の被告に依れば、現在に於て社會保險を受ける資格ある勞働者中の約九割、即ち五〇〇・〇〇〇人が各種の社會保險基金に登錄せられて居る。疾病ベネフイットは現在賃銀の十割である。癈疾者の地位は之よりも不利で當然支へらるべきものゝ五割だけを現に受けて居る。癈疾者等の受領した最高手當額は一箇月十五チエルヴォネッツ・ルーブルであるが之では生活維持に全く不十分である。また失業手當は全失業者の一割五分乃至二割の者のみか支へられて居るに過ぎない。手當額も最低の生計費（之はモスカウ及びレーニングラードでは戰前紙幣十ルーブル、其他では七・八ルーブルと見積られた）の六割以上に出でない。

保險料金は今は全然企業側の負擔となつて居るが此の料金は產業が困難な情態にある爲め最近賃銀總額の十四％まで引下げられた。勞働大臣は『此の引下げにより吾々社會保險上の一切の義務を果たし得ないことゝなつた』と言つた。現在の情態では保險ベネフイットの增額の許されないことが指摘せられた。全露評議會及び勞働省は社會保險に對する料金の支拂延滯の弊を除く方針を採つて居るが、此の料金支拂延滯の爲めに各保險基金は困難な地位に陷り或る基金は遂に閉塞するに至つた。此の基金の缺乏を救ふ爲め最も經濟的な保險制度が考究中であつて基金が苦んで居る假病に對しては嚴重な措置が講ぜられる筈になつて居る。考究中に屬する今一つの措置はヨリ富んで居る基金の餘剩を他の例へばドネッツ盆地基金の如く慢性的に缺損に苦んで居る基金に向けてこれを移讓すると云ふ件である。勞働大臣の考ふる所に依ると現在の情態では保險料金の殆ど八割以上は徵收不可能であるさうだ。

△住宅問題

住宅問題は極めて重大である。多數の代表委員の意見によると、現情態は勞働者の健康に取つて既に危險であつて、此の儘では生產高增加の爲め如何なる方法が試みられても成功が覺束ない。また勞働大臣の言ふ所に依れば、住居人一人當りの床の面積は普通十六平方アルシン（即ち十一・二平方米突）となつて居るが、實際は之よりも遙に劣つて居る。例へば纖維工業勞働者に於ては通則として六平方アルシン即ち四・二平方米突しかなく、ドネッツ盆地の鑛夫に於ては七半平方アルシン（五・二平方米突）、金屬工に於ては八半平方アルシン（約六

平方米突)である。『此の情態が持續してはならない凡ゆる代償を拂つても我等は此の問題を解決しなければならぬ、此の問題の解決は單に勞働者の利害問題のみでなく、産業もまた同樣に之に對し利害關係を有つて居る』と勞働大臣は附言した。

勞働大臣の管理して居る金額三九●〇〇〇●〇〇〇チエルヴォネッツ●ルーブルを以てすれば、一九二五年中に一六●五〇〇軒の住宅を建築し得、之により恩惠を受ける勞働者は九五、〇〇〇人である。然し之でも尙ほ不十分とせられて居る。此の如き實狀であるから、會議は住宅問題解決の爲めには『政府の援助は不十分である』との見解を認め、現在の危機を輕減する手段として、勞働者の住宅建築を目的とする産業組合を設けんことを勸告した。

△勞働組合組織

全露評議會々長の引用した數字に依ると現在各勞働組合の有して居る組合員數は六、〇三六、〇〇〇人である。此の總數に對し筋肉勞働者は六一%を、俸給勞働者は三九%を、女子は全體の二四%を、年少勞働者は三●一を占めて居る。勞働組合員でない筋肉勞働者及び俸給勞働者は總計三九一、〇〇〇人である。此等は重にツヴイエット官吏及び季節的勞働者である。今一九二一年以後の勞働組合員數の異動を示すと左表の如し。

日附	組合會員
一九二一年七月	八、四二八、三六二人
一九二二年一月	六、七三九、九五八人
一九二二年十月	四、四八三、〇九五人
一九二三年四月	四、八二八、〇〇〇人
一九二四年一月	五、六二一、〇〇〇人
一九二四年十月	六、〇三六、〇〇〇人

一九二三年以降に於て員數の増加したのは、一部は新經濟策の實施により幾分産業が復活したに原因し、一部は多數の勞働者が勞働組合の事には左まで注意を拂はないで唯組合員たることの結果より得らるゝ各種のベネフィットを享有せんが爲めに組合に加入する事情から起つて居る。此種の會員があるから從つて勞働組合記錄簿に上つて居る多數の會員はその組合の能動的會員でない。

各勞働組合の財政情態は稍々改善したが今尙ほ極めて不滿足なものである。一九二四年十月一日に於て全露評議會は其の豫算の均衡を保つことが出來たけれども、地方組合聯合會議の約二割及び地方勞働組合會議の六割は缺損を出して、餘儀なく中央委員

會から補助を求めると云ふ方法を執つた。斯く缺損の起るに至つた原因は何であるかと云ふと、會員の約三割が一部は怠慢の爲め、又一部は窮乏の爲めに料金を拂いない事である。尙財政情態は漸々惡化しつゝあるものと言はなければならぬ。

△工場委員會　此の問題に對しても會議は注意を拂つた。多數の代表委員から大分批難が出た全露評議會々長は『勞働組合はその本來の面目を現に備へて居る、工場委員會が勞働組合の主要機關であると言はれる點は極めて小範圍に於てのみである工場委員會の現状は如何と言ふに、餘りに多くの仕事を負はされて居る、各種の回章で埋められて居る諸方面からの質問にも答へなければならず、證明書も出さねばならぬ、要するに工場委員會は勞働組合の仕事（之は工場委員會の行はんと企てるべきものでない）外のことは何も彼も行つて居る』と述べたそこで會議は工場委員會の活動を容易にし、其のイニシアチーヴの精神を復活せしめる爲め、從來餘りに過ぎた回章類を最小限に止めると云ふ制限を設けんことを勸告した。また工場委員會に俸給を支給する役員を置くだけの必要な基金を有しない勞働組合は、その會員より一名の委員を選出して、正規の作業時間外に於て、名譽役員の資格を以て勞働組合關係事項を取扱はさすと云ふ原則に關して、種々に審議した上、遂に意見の一致を見た。

△教育問題　全露評議會々長は組合員倶樂部によつて勞働組合の教育を行ふと云ふ方法を辛辣に批難し、右の如き倶樂部が文書の播布及び印刷物により又教授によつて事業を繼續し得べしとする思想に反對した。トムスキー氏の説に依れば、右の倶樂部が政治的團體なるか又は單なる娯樂の場所なるかの問題を討議することは誤つて居る、倶樂部は同時に此の兩方面を具備しへなければならぬと云ふのだ同氏は又『勞働組合は共産主義の學校である、然し縱ひ勞働組合が共産主義宣傳の中心として役立つにしても、爰に忘るべからざる事がある、則ち勞働組合は政治的意見の別を見ずして一切の賃銀勞働者を包括する、勞働組合は前衛軍と民衆の大集團との連鎖である、そして此の連鎖が破れることを避ける爲めには（宗教問題のみに就ても）より多くの寛容を示さなければならぬ、我等は我等の意見を強制的に他の者に課することなくして辛抱强く之を説明しなけ

ればならぬ』と論じた。そして會議は遂に全露評議會の見解を採擇したさうである。

種々の勞働法規と社會的施設

政府は來議會に夫々提案する筈である

政府は現下の社會狀態と普選實施後に於ける趨向に鑑み多年の懸案たる勞働法規を實施して社會局の撤廢を期する方針を執り目下關係機關に於て其の準備中であるとの事なるが勞働制の根本たる勞働組合法竝びに勞働爭議調停法は是非ともこれを來議會に提出して通過せしむる筈なりと而して勞働法規を實施するに就いて其の個々を觀察するに

勞働組合法　這は既に五十議會に提出する豫定にて內務省社會局に於て立案し大體成案を得たるものなるが當時高橋農相、陸海軍當局の反對で閣議に上程さるゝに至らず暗に葬られしものなるが今回は必らず提案する筈であると。

勞働爭議調停法　這は既に內務省にて成案を得て居るが大體本案は何等勞資双方を強制せざる自由制度なれば重要なる改正を加へて組合法と一緒に提案する筈で之れは殆ど確定的のものであるが同時に多年の懸案で曩に社會局にて撤廢に一致せる治安警察法第十七條の無條件撤廢は相當異論を有するものあれば多少困難の模様であると。

改正工場法　這は大正十二年の議會を通過せるもので政府は一般勞働法を確立すると同時に愈々之を實施する事とし近く之が施行勅令を發布すべく樞府に手續を執る筈なるが尙ほ工場勞働者最低年齡除外法も當然實施せらるゝ筈である。

健康、失業保險　健康保險法は大正十一年議會を通過せるものにして今年は是非とも豫算四百萬圓を計上し來年度より實施の模様である又失業保險法は失業對策の一端として內務省社會局にて立案中なるが之に最も密接な關係を有する職業紹介所の施設完備せざるは遺憾なるも豫算の關係もあり來議會

に提案して實現を期する事となつて居る。
尙ほ養老、癈兵に對する施設、其の他種々の社會政策に關する事項あるも之等は後廻しとし以上の各案が議會に提案若くは實施に至るまでには貴族院や樞密院の關係にて相當の修正を加へられ頗る徵温的のものにならにならんと觀られて居る。

政府の社會改善事業

現內閣は新政綱の一として社會政策を中心とした各種の改善事業に着手すると稱せられてゐるが內務省社會局では大正十五年度の豫算編成に際して右社會政策を實現すべく目下審議中で先づこれが前提として臨時事業と繼續事業との區別を樹て從來の事業を整理することに決した新事業としては
(一)**住宅政策の實行**　右は從來の如き姑息的手段を捨て(一)不衞生住宅の整理を始め(二)勞働階級に便ならしむるため其の附近に建設し(三)住宅供給は六大都市として其の半額は國庫補助に仰ぐ。
(二)**人口問題の解決**　內地移民政策としては北は北海道、南は宮崎縣に移民させる前者には猶ほ數百萬人を遺憾なく收容し得る餘地があり後者に在りても人口分布上十分の餘裕がある夫れから未開地の耕作に對しては補助金を與へる方針で宮崎縣知事から參考計畫書を提示し來れる由である。
(三)**兒童保護法の制定**　先づ初年度に約三百萬圓位を要し(一)貧困兒童にして學齡前後のものに對して精神肉體共に之れに社會的の保護を加へ(二)更にその母性の保護までも之を行ひ(三)産院、兒童相談所又は榮養機關等をも設置する。
尙は問題となつて居るのは救貧法案、海員健康保險法案、庶民金融機關の設置、國立女子感化院(東京に一箇所)等で是等新事業を實施するとせば十五年度豫算は約千五百萬圓に達すると。





滿洲勞働界の最近潮流

高橋月南

上海における紡績事業の罷工に端を發した南支一帶の騷擾は、一轉して支那常習の排外運動となつたが、此の騷擾が東三省卽ち滿洲各地に影響を及ぼすなきやは深甚なる注意を要する事である。新聞紙の報道によれば、上海及び青島の罷業と其他の排外運動とは、滿洲一帶にも何等かの影響を及ぼすであらうとの事で、五月中に宣傳のため上海方面から十數名の支那人が潜入したとの風説も傳はり、關東廳始め各地の領事館竝びに警務署等に於てはそれ〲警戒を加へ、多數の支那人を使用しつゝある各工場の監理人を召集し、豫めその對策を講じた筈であつた此の折柄、奉天、鐵嶺、撫順の三箇所に支那人勞働者の罷業勃發したるも、之等は上海方面と何等關係なく、當局の警戒と當面の對策その宜しきを得た爲め、竟に大事に至らなかつたのは幸ひだ。

現在大連民政署管內に於て支那人職工を使用してゐる工場は三百十三箇所あり、十三年度に使用せるその延人員は四百十七萬五千六百名の多數に上つたと云ふ有樣であるから、滿洲における最近の罷業は幸ひ大事に至らなかつたとしても、時節柄勞働問題の對策を等閑に附することは出來ない。殊に大連は滿洲に於ける物資の呑吐港で、萬一埠頭の諸機關に從事せる勞働者でも騷ぎ出したら、それこそ大事件である。そこで上海事件の擴大し行ける六月中、大連警察署は之が取締のために汽船、汽車の發着毎に警官を派出し、行動不審なる者は一々引致取調べをなすと共に、市內の支那旅館には絕えず警官を臨檢せしめ、油房その他工業會社の支那人勞働者の行動

に嚴密なる監視を加へ、更に萬一に備ふる爲め、大連市内における支那人勞働者の人員、性質、特長その他を精密に調査した。今日の處では心配はあるまいと當局者も語つて居るが安心は出來ない。

奉天三會社の罷業

奉天に於ける邦人經營の工場中最も多數の支那人勞働者を使用して居るのは南滿製糖、滿蒙毛織、奉天製麻會社等で、彼等勞働者は機會のある毎に賃銀値上の要求をなし、之迄も數回罷業を行つたことがあるが、今回の上海事件に伴れ、彼等の擧動又もや怪しくなり、五月三十日に至り奉天製麻と南滿製糖兩會社における勞働者の一部は遂に罷業を斷行した彼等の要求は現在支給されて居る奉天票を奉天大洋にして呉れと云ふのであつたが、其の要求額は現在の八割高に上るので、會社で聞き入れなかつたところ、其の翌日數十名のものは他の勞働者の工場入りを阻止し、斯くて罷業となつたのである。南滿製糖會社は昨年十月に勞働賃銀を二割方增加し、本年三月更に五錢方値上げしたが、奉天票の價値が奉直戰爭後次第に低落し、それと反對に諸物價が一齊に高騰したので、支那勞働者の要求には多少の理由あるも、八割高の大洋給は困難なるため、會社はその要求を拒絶したのである。滿蒙毛織會社の罷業は此の罷業の波及とも見るべきものであらう。

此の罷業中、一部の職工は會社側に復職を懇願し來り、それと同時に、彼等の結束は次第に崩壞するに至つた。一方警察側では萬一を慮り嚴重なる警戒を加へた爲め、彼等勞働者も騷ぎ散らすことが出來ず、約一週間の罷業又は怠業の後、會社側では更に七錢の値上げを爲し、それで一先づ落着した。此の罷業には上海邊からの煽動なく、全く勞働者自身の自發であつたが、併し南支方面の罷業騷ぎに刺戟された點は慥かにあつたと云へる。

撫順窯業の罷業

撫順窯業會社の老虎臺煉瓦工場には約五百名の支那勞働者があり、その賃銀は昨年まで日給制度であつたが、能率增進の見地から之を請負制度に改めた即ち作業を苦力頭に請負はせ、製品一萬個に對して小洋十六元五十仙の割を以て工賃を支拂ひ、苦力頭はその範圍内に於て苦力を使用し來つたのであるが

最近物價の騰貴に依り右の工賃にては生活が困難となつたので、苦力等は協議のうへ此點を理由として會社に向け賃銀値上げを要求せんとする氣配が五月中旬頃から漸次濃厚になつて來た。

之を知つた苦力頭は、會社に對し苦力の實情を訴へ、賃銀値上の考慮方を促したところ、會社は他の振合等を考慮して卽答せず、其のまゝ對策も講ぜず放任した。是れが事件勃發の動機で、五月三十日に至り、苦力等は結束して公然と會社に賃銀値上を要求した。然るに會社の態度極めて冷淡なので翌日一齊に作業を休止し罷業を斷行した。會社は此時始めて狼狽し出し、幹部のもの鳩首協議の結果、一萬個に對し工賃二元五十仙を增して十九元を支拂ふことを聲明し、問題はそれで解決したが、當時の會社側の遣方は頗る拙であつたと言はれやう。此の罷業は僅かに三日間に過ぎなかつた。

鐵嶺の特殊的罷業

南滿製糖會社農務部の中國社員の組織せる同僚會は、上海事件の燃えつゝある當時、賃銀三割增の外尙ほ四條項を理由として五月二十一日同盟罷業を企て、各地に散在せる會員を糾合し、鐵嶺を本據として三十五名の會員結束を固め、鐵嶺城內山賓館に立籠つて會社に對抗した。此の事件は勞働者の罷業でなく、同社における支那人社員の同僚會の企てた騷ぎだが、之れも要するに南支方面に於ける騷擾の一反影と見るべきであらうと思ふ。

彼等罷業團は其後奉天の本社より何等か交涉を開始するものと豫想して居つた處、會社側の態度が案外に強硬で、當時勃發した奉天に於ける職工の罷業も解決した爲め、彼等は之れに依つて一方ならず氣勢を挫かれた。そこで同僚會は代表者を奉天本社に赴かしめ、更らに交涉する所があつたが、本社側が飽くまで强硬なる態度に出でた爲め、彼等は目的貫徹の不可能なるを悟り、鐵嶺に歸つて其旨を同志に報告し、協議の末、形勢非なるを看取して遂に六月五日罷業本部を解散する決議をなした。

彼等は本部を解散しても各團員は會社側に對して强硬なる態度を持すべく誓つた。然るに衣食に窮する連中は軟化して前任地に歸り復職方を請願せるものが多數あつた。會社は同僚會幹部に誘致されて加盟せるものに對して幾分その情狀を酌量し、將來を

誓はしめ、二名以上の保證人を連帶せしめて復職せしめたが、會長王貴德その他のものは絕對に排斥する方針であると聞く。又此の會長王貴德を援助して最も活動した幹部の一人黨痒周は、曩に奉天中學を優等の成績で卒業し、鹿兒島高等農林學校に留學し歸來匆々開原農場に勤務し居りたるものなるが、我が大杉榮、堺利彥等の無政府主義又は共產主義に關する飜譯的著書を耽讀し、辯舌巧みに人を操縱するに妙を得た人物であるさうな。現に此の新人は奉天中學同窓會長並びに開原青年團長に勤め、今回の罷業に際しても開原驛前豐成號より銀百元を送附せしめ、大いに裏面的に活動したと言はれてゐる。滿洲の支那人にも斯うした人物が居ると云ふことは一應も二應も注意すべきであると思ふ。

大連の勞働團體

從來大連市內には支那人の勞働團體が一つもなかつた。先年沙河口工場の一部職工が勞働團體を組織するとかの話はあつたが、それは話しだけであつて具體的には纏らなかつた。處が最近に至り傅某が中心になつて工學會なるものを組織した。同會員と稱する者は工場內支那職工七百名を始めとし、大連機械製作所、滿洲船渠會社の優良職工等五百名を網羅し、支那人勞働團體の芽生としては相當勢力を持つて居るらしいので、當局者も時節柄嚴重なる警戒を加へて居る。同會の成立したのは最近のやうであるから、會そのものは未だ十分なる資力を有しないであらうが、支那人勞働者の頭腦は單純であつて、他の煽動敎唆に乘り易く、且雷同性に富んで居るので當事者の監視の眼は大いに光つてゐる。

仄聞する所によれば、昨年京浦線定州に支那全土の鐵道從業員大會が開催された際、此の工人會を組織した傅某は滿鐵會社支那人從業者を代表して出席し、その席上において、在滿支那人勞働者（主として技術を有するものを指す）は日本人勞働者に比しその受くる賃銀に甚だしき差異があるのは遺憾である、依つて自分は先頭に立ちて支那人職工の待遇改善に努力する考ゐである、と熱心に辨じ立てたとの事である。滿洲の支那人の間にも斯樣な人物があるのは注意すべきことであらう。

尙ほ埠頭事務所倉庫監督施永申及び監視係刑民敬の兩名が主唱の下に支那人從業者（福昌公司關係苦

力を除く）五百八十名を一團として華人共助會なるものを組織しやうとした。之れは會員相互の親睦融和を圖るは勿論のこと、智能の啓發、品性の向上と共に待遇の改善を期するのが目的で、會費は月給十圓以上のものが三十錢より一圓まで五段に分ちて出すことにし、埠頭事務所に向けてその承認方を求めた。然るに滿鐵會社は從業者に對しそれぐ＼規定を設けて居り、一般營利會社と異なる待遇を與へ居れば、從業員より待遇についての要求を聞く必要なきのみならず、此くの如き支那人のみの勞働團體を社內に設けしむる時は、他日それが如何に變化せんも測り知られずとの懸念もあり、旁々埠頭事務所ではその旨を告げて其の承認を拒否した。

因みに前記工人會は鞍山製鐵職工を以て鞍山支部を設立すべく計畫し、その進行に努めた後、六月中旬に第一回會合を開催せんとした。滿鐵會社は早くも之を偵知し、此の支部設置をも禁止したが、此の工人會を組織しやうとした者は、此の一頓挫に撓まず、更らに大連に支那人職工の勞働團體を設けんと極力奔走して居るといふことだ。

奉天の失業者と失業者救濟計畫

在奉天　田原漠東

不景氣時代に於ける最大の社會的疾患は失業者の續出であらう。此の痛ましい現象は日本內地において殊に顯著であるが、滿鐵會社を始め民間事業會社の各方面に亙つて廣く人員淘汰の行はれた結果、滿洲にも漸次失業者の數を增加して來た。滿洲には未だ此種の調査機關が完備して居ないから、其の實數を知ることは極めて困難で、僅かにその概數を推測し得るに過ぎないが、兎に角逐年失業者の數が增加しつゝあることは事實である。

試みに奉天に於ける職業紹介所に就いて調べて見ると、本年の前半期と前年のそれを比較して約三割の失業者が增加したと云ふことである。勿論紹介所

に來る者の悉くが必ず失業者であるとは云へぬ。中には轉職希望者もある。併しそれは至つて僅少で大部分は無職業者である。斯くの如く失業者が增加し隨つて求職者が非常に多いのに反し、求人數は至つて少ない。その結果、職業紹介所の當事者は企業家或は當局と共に求人開拓の宣傳に力め、專ら失業緩和に力を致して居るが、尙ほ所期の萬分の一の效果だに擧げ得なれぬといふ有樣である。

失業者の多い英國では、失業保險を初め失業救濟の種々なる施設が整つてゐるが、それでも失業問題を滿足に解決し得ない。英國既に然り、況んや失業調査の基本となるべき失業統計を來る十月から漸く初めると云ふ我國において、又我國の一種の植民地ともいふべき滿洲において、失業問題の解決が十分でないのは何等怪しむに足らぬ。左りとて此のまゝ放つて置くことは勿論出來ない。政府が遲蒔ながら全國に亙つて失業統計調査をなすと云ふ今日滿洲でも何とか機宜の策を講じて可なりであらう。

今奉天職業紹介所に於ける求職者と求人との比較を見るに、大正十三年七月より大正十四月一月までの求職人員は日本人男五百二名、女二十六名、鮮人男六十二名、支那人男十一名、合計六百三名で、その中就職し得た者は僅に二百五名、卽ち全數に對する約三分の一に過ぎない。殘餘の三百九十四名の內六十四名は鄕里に戾り又は他の地方に轉じたが、殘り三百三十四名は失業無職のまゝ空しく奉天に在住して居る。就職者二百五名の職業別は

事務員	二九	外交員	三八
店員	六〇	日給者	二一
職人	四〇	行商人	二
女中	一五	計	二〇五

にて、年齡は最低十七八歲から最高二十七八歲まで敎育は高等小學校程度位のものが多く、此の就職者は全部未婚者である。此の以外尙ほ職業紹介所に就職の途を求めない無職者が幾人あるか知れない。內輪に見積つても一千名位あるだらう。

殊に憂ふべき現象は失業が各階級に普遍してゐる事である。從來の失業者は大部分未婚者であつたので、友人や知己の許に寄食し、何うやら餓ゑずに生を辿つて居たが、近年家族持ちの中流階級並びに一部上流階級の失業者が出て來た。之れも憂ふべき現象だ。奉天にも滿鐵會社や關東廳から掃き出された

家族持ちの失業者がゴロ〳〵して居る。今日のところ斯うした傾向を知る唯一の方法としては、甚だ胃驗的な試みではあるが、滿鐵、警察、遞信局、一般會社の異動により調査するの外途がないので、それに依つて調べて見ると、奉天のみで此種の失業者が少くも百餘名を下るまじく、此の家族を合する時は三百名位に達するであらうと思はれる。是等の失業者の中には退職慰勞金や恩給などで差當り生活に困らぬ者もあるべく、是等は無產の失業者に比べると頗る餘裕のあるわけだが、精神的には無產失業者と同格の苦痛と懊惱を感じて居るだらう。

近來奉天の滿鐵地方委員會を中心として、獨り奉天のみでなく、滿洲全般に亙る失業者の救濟善導に關する方策が講究されて居る。今の處では未だ具體的成案を見ないが、根本對策を講ずるまでの豫備施設として、基本金約二十萬圓を以て財團法人組織の職業紹介所を設け、奉天に本部を、各地に支部を設け、統一した制度の下に失業救濟の上に努力しやうと云ふのだ。財源の內容は發表の時期でないが、何でも滿鐵、關東廳、朝鮮總督府より應分の補助を受け、基金は之を十箇年間据ゑ置き、事務所費及び人件費は年額約三萬圓とし、失業者の就職紹介と同時に授產設備をなし、失業者に授產の途を與へると云ふのが大體の骨子であるらしい。

奉天には現在私設の職業紹介機關が三つもあるが何れも經營難を感じて居るので、充分にその機能を發揮することが出來ない。そこに前述の如き大きな統一的機關の必要があるわけだ。併し現在の狀態では求職と求人との平衡を得る望みがないから、產業が振興し、經濟界が活況に向はぬ限り、永久に今日の狀態を持續すべく、從つて職業紹介の不十分なると共に授產方面に何とか活路を開拓するの外に途はない。計畫中である前記財團法人の職業紹介機關が授產方面に對し如何なる程度の施設を爲すか、未だ實現の如何さへ決せぬ今日、これを豫想することは固より出來ないが、職業紹介よりも寧ろ此の授產方面に力を注ぐことであらうと思ふ。

救世軍の育兒婦人ホーム事業

兩ホームの起原、沿革並に成績

日露戰爭の漸く終りに近づいた頃、當時基督敎青年會の軍隊慰問部主事として滿洲に滯在しておつた益富政助氏その他の有志は、日本より多數の婦人が誘拐されて滿洲に來り、醜業に身を委ねて赤恥を晒らし、浮身をやつし、罪惡の生涯を送る有樣を見るに忍びず、その內最も氣の毒なる數名の少女を東京の婦人ホームに送つた。處が此の種類の婦人は追々その數を增加し、迚も一々內地へ送還するといふ譯に行かぬ所から、遂に滿洲婦人救濟會なるものを大連市浪速町に設ける事となつた。是れは明治三十九年四月のことであつて、其の年の九月に至り該事業は擧げてこれを救世軍に引渡した。之れが卽ち大連救世軍婦人ホームの起源である。

翌年の明治四十年に市內飛彈町に建物を新築し之れに引移る事となつた。其の地所は大連民政署の厚意により無料貸下を受け、新築工事に對し有志の之を補助せし向も多く、當時關東都督であつた大島大將は戰爭中使用せる赤毛布壹萬枚を此の事業の爲めに贈與せられた。斯くして薄命なる多數婦人を救濟收容して居る間に、子供携帶の女や妊娠中の女もあり、氣の毒なる婦人を救ふ爲めには其の子供をも救はねばならぬ次第となり、一方には孤兒、貧兒、委託兒等を收容し、種々の不幸から夫に別れ妻に別れ幼兒を抱へて困難する人も尠からず、左樣な人々の爲め父母に代りて子供の養育に當るべき機關の缺ぐべからざるを痛切に感したので、明治四十四年五月育兒ホームを開くことになつた。

然るに不幸にも大正三年二月十五日保護者の一白痴婦人の放火により建物全部を燒失したので、一時市內敷島町勤勉ホーム(當時救世軍經營)に避難したる後、西公園町および須磨町に借家して漸く事業を持續したが、大正四年九月現在の場所へ新築移轉し爾來都合好く働き續けることゝなつた。此の爲め關東都督府より金四千八百圓、南滿洲鐵道株式會社よ

り金參千四百圓を補助せられ、その他大連の重立ちた市民も同情を寄せられた。相生由太郎氏の如きは金參千圓を喜捨せられ、收容舍一棟の建築を引受られたるは、誠に感謝に堪へざる所である。

救世軍事業の目的は主として他人の益を圖り、其の人を救ふ事により善良なる人民を作り、到る處に善良なる道德的感化を及ぼすにある。換言すれば人の靈魂を救ひに導き、身上を善くし、人類の幸福を增進せんとするにある。而して日本救世軍本營に直屬するホームの役員は監理壹名、士官及び軍屬若干名で、監理はホーム全般に亙る事務並に育兒と婦人の敎養指導の責に任ずるものであり、他の士官及び軍屬は婦人部、男兒部、女兒部、幼稚部に於ける各部の直接任務並に雜務に當るのである。猶ほこの外に雇人若干名ありて是等の人々は監理指揮の下に在りて炊事その他雜用に當つてゐる。

過ぎ越方を回顧すれば多々苦心の跡を存ずれども幸ひに前進を續けて居り、近來は幼兒保護の要求增加し、不良的のものも時々保護感化の要求ありて苦心して居る。今明治三十九年九月より大正十三年十二月までの救護統計を示すば左の通り。

△育兒の部

收容合計　四一四名

內譯

一、婦人ホームにて出產　一四

二、警察より委託　三二

棄兒	一
兩親ヨリ他家ニ置去	二
虐待セラレタルモノ	三
不良少年	五
醜業ニ賣ラレントスルモノ	三
貧困	四
父行衞不明母ノ精神病	六
其他	一〇

三、母と共に收容　六五

父行衞不明	一一
父死亡	一八
生計困難	一四
父病氣	二
其他	二〇

四、兒童のみ收容三〇二

父病氣生計立たず	二三
父死亡の爲め	三八
父行衞不明	一〇
母離別行衞不明	三二
父母保護不能	三
父母病氣	八
兩親死亡	一一
母死亡	五五
繼母家庭不和	一二

生計立たず　二七
母病氣　六九
市役所委託　二
其　他　二

五、祖母と共に收容　一（父死亡繼母に別れたる爲め）　一

△收容後の成行

ホームの職員となりしも者　一
當地にて親權者に渡す　二三三
內地親權者に渡す　四〇
親戚知人に引渡す　三七
養子に遣はす　一七
母と共に歸國　二六
死　亡　二四
現在收容中　三六

△婦人の部

收容合計　一、三三四名

內　譯

警察より委託　三五
市役所より委託　一三
離婚の爲め　一五
無斷家出せるもの　五二
夫に死別　一〇三
夫行衛不明の爲め　三二
誘拐されたるもの　四三三
醜業に賣られんとするもの　二三五
醜業婦を廢業　四五
再收容　四〇三

△收容後の成行

當地にて親戚知人に渡す　一一九
歸國せしめたるもの　二六一
復緣せしめたるもの　三〇
看護婦又は姆母となれるもの　二三
內地女學校に入學せるもの　一
結婚せしめたるもの　三一
女中奉公就職　七二六
他の救濟機關に移したるもの　四九
死　亡　九
無斷退館　四〇
東京婦人ホームへ送る　九
不結果及び不明　二三
看守となりたるもの　一
警察署へ引渡　六
現在收容中　八

次に大正十三年一月より同年十二月までの十三年度の救護統計は左の通りである。

△育兒の部

收容合計	五六
內譯	
一、前年度より繰越人員	三九
二、警察署より委託	一
三、母と共に收容　四	
父死亡	三
生計困難	一
四、兒童のみ收容　一二	
父死亡	一
母死亡	一
兩親死亡	一
母病氣	一
市ヨリ委託	一
再收容	一
其他	一

△收容後の成行

當地親權者に渡す	一〇
內地親權者に渡す	一
親戚知人に渡す	三
職業に就かしめたるもの	四
養子に遣はしたるもの	一
母と共に歸國	一
現在收容中	三六

壹箇年の收容延人員一萬二千五百三十六人にして壹日平均三十三人に當る。

△婦人の部

收容合計	二〇
一、前年度より繰越人員	五
二、新に收容せるもの　一五	
市役所委託	二
警察委託	一
藝妓より救出	一
其他	一

△收容後の成行

歸國せしめたるもの	四
親戚知人に引渡せるもの	五
就職せしめたるもの	二
死亡	一
現在收容中	八

壹箇年の收容延人員二千三百三十八人にして之を壹日にすれば平均六人半に當る。

尙ほ收容兒童及び婦人のため毎朝家庭禮拜を行ひ心靈上の温情と德性の涵養に努めて居るが、大正十三年度に於ける右集會の回數三百十六回、出席人員總數一萬二千二百六十四人に達した。此の外においてて人事相談が六十二件、職業紹介が十五件、一時宿泊(無料)が七件、計八十四件ある。

社會問題彙報

大連市に跋扈する不良少年

最近大連市の芝居小屋や活動寫眞館內等で良家の婦女子を釣る不良少青年が非常に激增した現に五月廿日午後大連署司法係に出頭し是等不良少青年か巧妙な手段を用ひて誘惑せんとする實況を訴へた妙齢の美人があつた此の美人は信濃町某良家の生娘であるから特に姓名は預るがその語るところに據れば「私は今迄に四五回活動寫眞を見に行きましたが帝國館と浪速館とで三回まで不良少青年にやられました彼等の手段は二三人組んで女の附近に座を占め最初手を握らうと寄り添ひこれを振り切れば更らに極端に怪しからぬ行爲にまで及ばうとするので恐ろしさに逃げると屹度又跡を追つて來ます」と赤裸々な事實を臆面もなく述べた後「斯ることは決して私一人でなく他にも多くの被害者が必ずあらうと思ひ私は犠牲となつた積りで實は躊躇して居ましたが思ひ切つて訴へに參つたのです」と決心の意氣を示し尙ほ「銀婚式當夜は四五人組のものに襲はれました」と付け加へた。

夏季に入つて博覽會や其他の入込みになると益々此種の犯行が露骨に野外などに於ても行はれるやうになるから娘持つ親は勿論若い奧さん方も芝居や活動に行くとき又夜間外出のとき等は特に注意すべきであらう警察でも活動館に對し何等かの方法を講じて嚴密なる男女席の區別方法を考究中であるが此種誘惑を受けた場合は直ちに屆け出るやうにして貰ひたい住所氏名は秘密にして不良少青年の退治をすると警察では語つてゐた。

適所を得た牧野氏と其の話

故小河滋次郎博士の後任として大阪府將來の社會事業を大成せしむべき人物につき中川府知事は各方面を物色してゐたが滿鐵會社社會課長であつた牧野虎次郎氏を囑託として招聘することに決した氏は第三高等學校がまだ官立中學校といふ名稱で大阪城京橋口にあつたときの在學生で同級者には有吉前朝鮮政務總監、下岡現政務總監等があつた其後氏は同志社大學に移り卒業後北海道監獄の教誨師となりその前後に典獄であつた小河博士と親密となつた間もなく渡米しエール大學で社會學と神學を研究して歸朝し大阪でキリスト新聞を經營した當時氏は將來社會事業が國家の政策上に必要なることを洞察し社會事業家の養成學校を創立しやうと奔走し故廣岡淺子刀自の同情で五十萬圓の資金を得これが調査のため再度歐米に渡り研究を重ねて歸つたところ淺子刀自が死去した爲め事業は一頓挫となつた其の當時內務省でも此の方面に着目し地方局內に救護課といふものを創設し田子一民氏を課長に任じ田子氏の懇望で氏は同課に入り大いに努めたのである牧野氏は語る。

明治三十五年に大阪で第一回全國慈善事業家大會を開き第四回目から慈善救濟大會と變り五月東京で第七回を開いた時には全國社會事業大會と順次社會の進步と共に名稱が變つた併し內容はちつとも變らぬ依然として現在日本の社會事業は慈善事業式である先づ第一これから改善し名稱に恥しからぬほんとの社會政策を實現したいと考へて居ります早川千吉郎さんが滿鐵の社長になられたとき滿洲方面にも社會的施設を行ふといふので赴任したのですが業未だ成らざる中に社長は逝去され事業は中止の狀態となりましたそれでも四年

程は同地で力の能ふ限りこの方面の改善に努力いたしました今回大阪に參りましたがまだ何んにも承知いたして居りませぬ之れから府市當局、實業家、事業家その他有力者の意見をも承つた上で將來の大計を樹てる覺悟です標語として居りますのは「一般民衆が協力して氣持よく社會に生存して行けるやうに」といふのです公衆施設をいくら設けても從事するものや社會の人が出入者を毛嫌ひするやうで駄目です私は大阪府の社會事業を一生の仕事とし大阪を世界的の模範都市といはれるやうにしたいと努力する決心です云々。

日傭勞働者の爲の集合住宅

貧乏の子澤山を抱へてその日暮らしの日傭勞働者に安くて住心地のよい安息所を與へやうと云ふので大阪市では本年度新事業として我國最初の「集合住宅」といふのを計畫し政府へこれが資金として近く四十二萬八千圓の融通方を頼むこととなつた現在大阪市は一般勞働者のために今宮、鶴町、西野田の三箇所に市立共同宿泊所を設けて居り本年十一月からは更に北長柄と九條の二箇所に「御殿宿泊所」が新築されることになつて居るが之れらはいづれも獨身の勞働者だけしか宿泊させないので多少貯金も出來一戸を構へやうと志す世帶持ちの勞働者の安息所は一つもなく彼等は已むなく北では北長柄方面、南では今宮方面の木賃宿に別世界をつくつてゐる現狀である市が「集合住宅」を建てる內面の目的は全くこの別世界の改善と勞働者の放浪的獨身生活に暖かい家庭生活の確立を促すためである。

この住宅は市內に二箇所、場所は未定だが多分北長柄と今宮方面の豫定で戸數約二百五十戸、之れを凹字形に建て一戸から出火した場合全部が燒失する慘を防ぐために各戸の區劃壁と周圍を鐵筋コンクリート造り二階建とし階上階下とも六疊一間これに板の間を附け洋式便所を設け炊事場には瓦斯を引き家賃十二三圓から最高十五圓までと云ふさゝやかながら文化住宅である立案中の市社會部里村庶務課長は語る「東京あたりのアパートメントと違ふところは各戸に出入口がちやんと一つづゝ有ることでアパートメントのやうに出入口が一つだけの設備は日本人には向かないと思ふ自分の理想としてはこの凹字形の中央に一般家族のために公園式のものを設け勞働者の子供の遊戯場や一般家族の運動場に宛て又この住宅に接して現在の市民館のやうなセツトルメントを設けそこには獻身的に働いてくれる人を置き圖書館や集合所を設けて勞働者の慰安日には集つて樂しく暮すといふ風にし敎化事業と共に隣保事業の完成と勞働者の夫婦生活の妙味を味はせ「夫婦勞働者のパラダイス」を實現したいと考へてゐる」と。

愈々近く改正さるゝ徵兵令

陸軍當局に於ては今回軍制上の大改革を實施するに至つたがソレは其の理由とする處が單に新戰術に伴ふ新武器の採用乃至は編制上の改善といふ事にのみ止まらんとするものでなく近時の社會思想と國家經濟の現狀等に鑑み各方面に亙つて改革を加へんとするものである先づその附屬事業の第一着手として試みらるべきものに徵兵令の改正がある卽ち同令は高等敎育を受けたものを遇するに假令豫備幹部たるに適する軍事敎育を受けないでも愈愈兵役に就くに方つては資力ある者は一年志願兵として兵役年限が短縮され尙且つ將校たるの地位を贏ち得るに拘らず貧力なき者は如何に材幹優越なる者と雖も一般兵と同一の待遇に甘んぜざるを得ないといふ狀態であつた故に今回軍事豫備敎育の實施と共に斯の如き財産制度の觀念に基く差別待遇制を撤廢し受高等敎育者は一率に豫備幹部たるの資格あり

との原則の下に徴兵合格者を入營せしむること、し中等學校及び同等學力のある者は在營年限を一箇年、專門學校及び同等學力ある者は在營年限十箇月とし右幹部有資格者在營期間の經費に對する自發制の原則は存置するも資力なき者よりは徴收せぬのである。

右の結果徴兵制度そのものにも大なる變革を加ふること、なるので徴兵令第十三條第十四條に對して右の原則が充當さるゝやう適當の改正が加へられる筈でその改正方針の大綱は既に決定したので徴兵令改正委員會に對し急速立案の歩を進ましめ大正八年七月法律第六十一號を以て改正せる現行法の改正法案を來議會に提出の豫定であると云ふ。

今や徐々に婦人にも求職難

失業者の數は少しも減らない押寄せる求職者の群と殖ゑない求人の不権衡は職業紹介所がいくら焦つても洗ひきれない病のかたまりだ然るにどんな不景氣にもまだ女人王國だけに「女よ來れ」であつたが「女にも漸く求職難が見ゑてきました全體のパーセンテーヂを見て下さい求人が九百八十一名に對して求職者が千十名です僅な差にもせよ斯んな現象は始めてゞす」と大阪市の市立婦人職業紹介所の井上一四女史が驚きの眼で語つた五月中の統計から見た傾向は製絲紡績などの女工志願が百七十七名もあつてうまく就職したのが六十四名、工場に女工難はつきもので鐘や太鼓でさがし廻り募集費だけでも太したものだと云ふほど左樣に工場は疲弊しきつてゐる跡に殘された百十三名の失業者がまさか鮟鱇もできず毎日紹介所に詰めかけて居る。

反對にお馴染みの女中難は求人四百七十九名に求職二百六十七名でそれも「子供のない家族の少い給料のいゝ」望み手ばかり乳母や子守の志願者は僅かに四名「あなたの望みは尤もだけれど結局赤ん坊の守をしてる方が樂ですよ」「女工なんてやめていゝ家庭に入つてしんみり裁縫でも習つたらどうです」と紹介所ではふり當てに苦心してゐるが來る者も來る者も會社や商店の事務員に憧れてゐる樣な呆れる者ばかりだ「二十圓でも三十圓でも可い事務員でさへあれば」と海老茶袴の娘さんが手を合さんばかりに賴み入つて來るソレが「勤務は午前八時から午後四時まで日給八十錢」ときいていそ〳〵と歸つて行くといふ有樣こんなのがこの頃の求職婦人の現狀で五十二名の求人に七十六名の求職者そして就職したのが僅か十九名でその内には例の出戻りが十四名もあるとは現實暴露の悲哀をまざ〳〵見せつけられた氣がするではない乎。

憐れな子を救ふ少年保護法

可哀想な子供を救ふといふ趣旨の下に全國から集まつた千六百人の社會事業家が相談して出來上つた少年保護法案は愈々政府に提出する事になつたが若し之が實現すれば社會のどん底に呻吟する可哀想な子供は皆救はれる事になる例へば未亡人が子供を抱へて喰へずに困つてゐれば國家がその子供の成長するまで生活費を出し或はまだ生れぬ母親のお腹の内にゐる胎兒でも母親の勞働が激しくて堪へられぬ時は國家は母親の勞働を止めて胎兒の安全を計つて吳れる若し又敎育を受くる義務年限になつても學校に行くことの出來ぬ子供は國家が補助して學校にやつてやる又自分の子とは云へ餘りに激しく子供を虐使する場合には國家はその子供を親の手から奪ふて強制的に保護して行く從つて不具兒や白痴や低能兒が親達から厄介視されるやうな場合には國家が干渉する事になる何にしても子供のためには有難い保護法となるわけだ。

右につき内務省社會局書記官小澤一氏は語る「この少年保護法は是非一般の細達に知つ

て貰ひたいと思ふ何となればこの保護法によつて世の中の可哀想な子供が全部救はれる事になるからです只單に可哀想な子供を救ふと云ふばかりでなく再び惡い子供が出ないやうに更に一歩進んではその惡い子供を良くするやうにするのが此の少年保護法の精神です從つて人の子に限らず我子でも酷く取扱ふことは出來なくなつて子供は國の隅々に至るまで愛されてゆくやうになる譯です此の精神は取りも直さず慈愛に富んだ母親の心を社會に映し出したやうなものであります何うぞ一般の親達の理解と後援を願ひます」と。

親を涙に咽ばせる不良少年

最近大連市内における不良青少年の跋扈は前にも掲げてある通り實に夥しいもので而もそれが多く上流家庭であるため親の慾目の慈愛と良家の家庭の子供を前科者にしたくないと云ふ警察の同情とで彼等不良兒はますく圖に乘つて墮落しつゝあるが六月六日大連市楓町派出所巡査の手に不良兒が押へられ本署に引致されたけれどもその母親の涙で身柄は嚴重說諭の後下渡された此の不良兒は熊本市新町屋敷三五七當時楓町六三滿鐵大連機關區運轉主任某氏の長男茂(一九)(假名)で目下大連第一中學校四年生なるが彼れは惡辣手段を弄し大連市の到る處で公安良俗を亂しつゝある札付者として逮捕されたのだ。

茂の自白によれば五日午後一時四十分頃楓町七五滿鐵社員久富弘文及び野崎愼一方に拳大の石を投げつけ硝子を破り三十一日から五日夜までの間に連續して野崎方三枚、久富方五枚、松園方一枚、楠町永尾方五枚、合計十四枚を叩き破つたと而して生活難から子供が故意に硝子を破りその後を親爺が修繕して生活の路を作るといふ筋書のチヤプリン劇活動寫眞を見て感化されたと辯解したさうだが調査する所によると之は一つの詭辯で被害者某方の女中に惚れ込みしも振られたのに怨みを含み斯くは毎夜附近の窓ガラスを叩き破るのだとも云はれてゐる尙ほ茂は自宅の二階に就寢するのを奇貨とし家人の寢靜まるを待ちベランダ傳ひに屋根を下り眞夜中頃から惡鬼の如き不良性を發揮する模樣だが斯くの如き不良兒を持つた親は氣の毒な限りである茂の母某女は警察で泣きながら私は生きてゐられませんと訴へて恐るべき子供の將來に震へたさうである一般家庭で子持つ親はその子女の不良兒に誘惑されぬやう注意が肝要であらう因に大連署水野署長は社會の公安良俗保持のため不良子女の跋扈を防止絕滅する目的で將來は良家と否との子女を問はず片端しから檢擧して處罰に處すると語つてゐた。

出稼ぎ苦力輸送上の一問題

樺太に於ける鐵道鑛山等の諸工事は獨り日本人のみならず支那勞働者も盛んに使役せられ能率に於ては日本勞働者に比し三分の二以上に出でざるも日給は僅かに三分の一卽ち一圓に過ぎない雇主側は此間の經濟關係よりして毎年作業期に於て當局の諒解の下に多數の支人勞働者の最も多く使用される鐵道工事中において工事請負堀內組の如きは例年當大連の榊原組を經て天津方面より千人內外の苦力供給を受けて居るが殊更に天津方面より輸送する原因は埠頭その他に夥しき支人勞働者を使役しつゝある滿鐵に及ぼす影響を顧慮し尙ほ當地方の作業季節は解氷期たる四月より結氷期たる十月末までの五箇月半にて此間彼等苦力は夜業その他の割增收入を得例の極度の生活で小くとも百圓以上の蓄積をなす等の關係上滿洲方面にては募集困難を來たし止むを得ず天津方面より募集をなしつゝありと云ふも事實はさうで無いやうである。

卽ち苦力の體格及び勤勉の點より第一の資

格者は蒼州河間地方の者に限られ之等の苦力は募集後豫定の人員に達するまで天津に滯在し支那官憲の干渉を避ける爲め滿洲出稼ぎと稱し一旦大連に來り更に目的地に轉送さるゝを例とし本年も苦力輸送の目的にて通譯某を天津に派遣し苦力募集に努めしめた而して從來支那官憲の干渉を慮り應募苦力を獨逸租界に集合せしめ置きたるに本年に限り支那街に分宿せしめたるところ忽ち支那官憲の干渉となり苦力頭某は拘引され約六十餘の苦力は檢束後解放せられ通譯某は直ちに應募苦力六百餘を引連れて去月上旬天津發大連に着いた斯樣なわけで雇主側に於ては苦力輸送に對する支那官憲の無理解なる干渉を豫期し居るも今後出稼苦力の輸送は一層困難となるべく一部人士間に大いに注目されて居る。

工女に纏ふ社會的重大問題

　憧れの都會へ之が草深い田舍に育つた年頃の婦女子の總てが持つ唯一の願ひである此の憧れを追ふて唯譯もなく都を指して上つて行く年若い娘達が年毎にどれだけの數に達するか殆ど想像だにもされないと云ふのは決して誇張でも何でもない斯うした田舍娘達の憧れを巧みにつかんで此の純眞な娘達を吸收して行く多くの紡績會社は多分の利益を收めて居る其の多くの利益は年若い娘達の過激な勞働に依つて生ずるものでなければならぬ而して此の過激なる勤勞の半面には實に戰慄すべき事實が潜んで居ることを忘れてはならない現に此の實例は全國到る處で發見される此の恐るべき事實とは何であるかと云へば紡績工女や製糸工女の肺結核の夫れである。

　過激なる勞働と非衞生的生活に依つて結核に侵された工女達の歸鄕は農村に對して恐るべき影響を與へて居る年頃の娘を拔き去られた農村は實に淋しいものであるが結核に侵されて歸鄕した工女に依つて病毒を撒布せられる農村は更に慘めである試みに内務省社會局の調査表を見れば紡績製糸工女は全體で七十二萬人に及びこの中六十萬人が農村から出て居るものであると云ふ而もこの六十萬人の一割は結核に侵されて歸農するのである此の發病者に對し會社はどんな待遇をするかそれは實に重大なる社會問題の一つでなければならぬ斯の如き事實に對して當局は如何なる態度を採つてゐるか是れも頗る疑問とする處であるが更に工場の寄宿舍に於ける衞生設備に就いては十分なものがあると當局者は云つて居るけれども果して事實であらうか是もまた頗る疑問である或地方に於ては歸農せる結核工女のために病毒を撒布せられて大恐慌を來しつゝありと傳へられてゐる何にしても是等は今後注目すべき問題でなければならぬ。

家出人に對する保護と誘導

　はなやかな都會生活にあこがれて田舍を飛出して來るもの家庭不和のため家を後にするものその他家出人の數が近來メッキリ多くなつて大阪府刑事課へ舞ひ込む保護願ひだけでも多い時は一日二十通少くとも五六通はある然るにこの多くの保護願ひに對する現在警察の取扱ひ方はホンの形式一ぺんにたゞ受け付けられて居るに過ぎない巡査が帳簿に記入を終り居所の分つてゐる家出人を最寄り派出所へ通知する位が關の山といつた頗る冷淡なものでその他の山と積まれた保護願ひはたゞ願出人の氣やすめ位に扱はれてゐる。

　この半面では幾多の家出人が惡周旋屋の餌食となり或ひは少年少女にして知らず〳〵不良の徒の仲間入りをするといつた事實が少くないので大阪府警察部では大都市警察の立場からして之れが改善方法を考究してゐたがいよ〳〵大阪市内各署に保護專任の巡査を配し保護願ひに關する一切の事務を取扱はしめ

る一方部內の旅館、料理屋、周旋業その他を絕えず調査し積極的に家出人の發見並びに保護誘導につとめるほか行旅病者の世話なども親切丁寧にやらせようといふ各府縣ではまだ見ぬところの新しい計畫を立て一日も早く實現すべく專ら準備を急いでゐる尙ほ大阪の玄關口梅田を控へた曾根崎署の如きも痛切にこの必要を感じその實現に苦心してゐる。

益々變る露西亞の經濟政策

モスコー來電によると六月七日から開かれた全露サヴエート大會と前陸海軍委員長トロツキー氏のモスコー歸還とはロシア內外政策に一轉機を劃する事になるであらう今回のサヴエート大會後ロシアの經濟政策は激變し私有財產及び個人企業に對する在來の方針は改められ結局新ロシアの礎石の一つであつた產業國營は國家資本主義の名の下に大部分刻み直されるものと期待されてゐる人民委員會副議長カメネフ氏はウクライナのサヴエート會議において大略左の如く聲明した。

ロシア政府は戰鬪的共產主義時代に私有財產に加へた總べての制限を撤廢するであらう此のやうな制限は農村の生產的發展を妨げるものである今回のサヴエート大會は特殊の改革問題について協議する筈になつてゐる卽ち(一)農民に分配される土地は今後その使用期間を長くし從來よりも伸縮を自由にすること(二)普通の商事的土地貸借に對する制限を撤廢すること(三)强制的八時間勞働制を廢し賃銀勞働に對し商業上の諸原則の適用範圍を擴め土地勞働者の妨げとなるやうな諸制限を廢することで又サヴエート聯盟中央執行委員會秘書キセレフ氏は今回のサヴエート大會は農民の健康增進に對する保健委員會の提案について十分に審議を遂げ尙は農民の租稅を輕減し地方の豫算組織を改造せんとする大藏省提案を審議する筈であると言つた。

勞働生活を體驗した小說家

實家の巨富に目もくれず斷然家督相續を拒絕した小說家藤森成吉氏と信子夫人(二十九)とが漂然勞働生活に入つたのは一年前であつたが氏は豫定の勞働を終へて東京雜司ヶ谷町一一五の自宅に歸つて來たソコで六月二十日午後六時半から銀座パウリスタにおいて「藤森ノ會」といふが秋田雨雀、德田秋聲、小川未明氏等文士連の發起の下に催された。

夫妻はまづ本所の石ばん工場を振り出しに續いて北海道北見エルガンの野の牧牛場に現はれた毎朝乳を搾つたり百頭近い牛を牧舍に追ひ込んだりする暇々には畑仕事に沒頭した次が豚の牧場でそれは東京に近い遠州の紡績工場に職工見習として髯面の藤森氏と理智的な夫人の顏が現はれたのは去年の秋の暮れで氏は食費先方持ち五十錢といふ日給を貰つてゐたソレから鐵工所で二箇月ばかり働き今年二月頃には信州の或る製絲工場の手傳人夫として入り込んだ斯うして六月初旬氏は尊い體驗を得て漸く歸鄉したのである病氣勝ちであつた藤森氏はこの間一度も病氣するどころかその腕は隆々ともり上り手も巖丈になつた氏にこの勞働生活中の感想を叩くと一番感じた事は時間の搾取があまりに平然と行はれ而かも世間でも等閑視してゐることです十二時間十三時間は地方へ行けば平氣で課してゐる之れでは單に生きてゐるといふ外の何ものでもない今度の私の勞働生活についてはいろんな事をいふ人がありますが私は只だまつて批判にまかします何しろ今度東京へ歸つて來て洋食でも食ふとすぐ腹下しをやるくらゐで粗食にではもう驚きませんと語つたさうな藤森氏の斯うした體驗は勞働生活の眞味を知らんが爲めであつてやがてゴルギー式の深刻なる小說が世に現はれ出づる事であらう。

百貨店式

◆我々日本人の生活は和漢洋チャンポン式で頗るごた付いて居るが此間にも多少異彩を放つた所がないでもない◆疊の上に座るのは我々日本人だけで他にはない朝鮮人は溫紙を敷いた温突(オンドル)に胡坐したり寢そべつたりするけれども座ることは出來ない◆下駄や草履を穿くのも我々日本人だけで此の故に新領土臺灣の本島人は內地人のことを陰で「木履兒」などゝ言つて居る◆袖の付いた衣物を着て腹のあたりに帶を締めるのも日本人獨特の生活的習俗で婦人の服裝は特別に異彩を放つて居る◆今や男子の多くは洋服を着用し婦人も洋裝する者が多くなつたけれども疊の敷いてある室內においては袖の付いた衣服を着てその上に帶を締めると云ふ有樣◆そこに舊態依然たりで疊なるものが存在する限り此の舊態を全然改めることは不可能らしい◆滿洲の家屋は概して西洋式で外觀は洋風であるが扉を開けて內に入ると疊を敷いた座敷があり床の間があると云ふ按排式で外と內とは一致して居ない◆而もその座敷の窓は洋風の硝子張りになつて居り應接室には椅子がありテーブルがあると云ふ風で純然たる西洋式だ◆斯くチャンポン式である我々日本人は食物も米の飯に味噌汁や魚を常食とするものゝ時に或は洋食を攝り又支那料理も取つて舌鼓を鳴らす◆斯くして現代の我々日本人は多趣味と共に多情となり氣が多過ぎて纏まりが付かず彼れも可い是れも可いと何にでも手を出す◆運動でも音樂でも活動でも萬事萬般に涉つて和漢洋のチャンポン式が行はれ夜には電燈の外に場合に依つて蠟燭も提灯も役に立たせて居る◆世界の何處にも恐らく我々日本人のやうな複雜多岐なる生活をして居る民族はあるまい◆斯うして複雜極まる二重三重の生活をしながら結句押通して居るところに東方日出國の民族としての特色があり異彩があると言へるだらう◆疊の生活は戰國時代以後の事だといふ說もあるが座ることは禪宗の結伽扶座から初まり禪を加味した茶道に依つて一層習慣付けられたものと思ふ◆そこに旣に他の文化と思想を入れて之を日本化したと云ふ一種の獨創がある◆三味線は支那のジヤミセンを眞似たものらしいが藍より出でて藍よりも濃しで音樂としてはお手本よりも進んでゐる◆佛教を入れ儒教を入れ漢字漢語を眞似ても

「いろは」四十七文字といふ日本特有の假名文字があり而して此の假名文字は朝鮮の諺文よりも優つて居ると云へる◆此の假名文字は漢字を砕いたもので詰り模倣から創造されたものである此の類の事を調べると他にも澤山あらう◆日本の文化にオルガニゼーション無しと言ふなかれ縱令模倣からの創造であつても創造はヤハリ創造であらねばならぬ◆彈丸を飛ばす世の中となつてから遂に骨董品の中に編入されて了つたが日本刀の如き鋭利鑿を斷つの概あるものは恐らく世界の何處にもあるまい◆上古時代の服裝は大體唐制を模倣した所があつた樣だが夫れが裃となり袴となり陣羽織となつた所に又創造が窺はれる◆斯く考へて來ると現代の和漢洋チャンポン式の我々日本人の生活から早晩新らしい創造が起るものと想像しても敢て差支はあるまいと思ふ◆現在は猶ほ模倣時代で直譯や請賣が流行し木に竹を接いだやうなものが多いけれども之を過去に照らして將來も永く今の儘のチャンポン式であらうとは思へない◆味噌も屎も一緒くたにして居る嫌ひはあるが凡ゆるものを取り入れる所に日本民族の偉大さがあると云へやう◆今は喰ひ散らし時代でまだ眞に味を嚙み占めて居らず隨つて消化作用が乏しいけれども將來も然りとは斷せられぬ◆嘗て支那と印度の文化を模倣して之を日本化した如く今日頻りに模倣しつゝある西洋の文化も何時かは之を日本化する時代が來るだらう◆日本化と共に其處に何等かの創造が生まれねばならぬわけでそれが世界の文化にどんな貢獻をするかは今のところ豫言されない◆何れは時が解決するとして現在の複數式生活は必然社會の上に反映して社會の表相も內容も頗る混み入つて居る◆この混沌たる現在の日本の社會はデパートメント式であり雜貨屋式であつて歸一がなく統制がなく隨つてテンやワンやである◆此故に社會の紐帶が鞏固でなく愛の表現が滿足でないのみならず一事を爲すにも異論紛出して纒まりが付かぬ◆個人あるを知つて社會あるを知らぬと云つた所があり其の個人主義も利己主義となつて其處から犬の嚙み合ひ見た樣な事が起る◆朝に味噌汁を啜り夕にスープを啜るといふ個人生活は社會の上にも和漢洋のチャンポン式を跋扈せしめねば已まない◆併し何時かは纒まるだらう纒つたら何んなものになる乎は神ならぬ身の知る由もなしだ。

物の値と貧富

◎或者が大變立派な麥藁帽子を冠つて居るので其の代價を尋ねると金九圓であると答ゐた◎其處に他の一人がゐて『君は高價なブルジョア的夏帽を冠つて威張つて居るのだな僕のは此の通り一箇三圓程度のプロ式だよ』と言つて其の安帽子を見せた◎するとブル帽を冠つた甲某は乙某に向つて『君のは安いが其の代り一年限りだらう僕のは値の高い代りに之れで最う四年間持ち堪ゐてゐる恐らく猶ほ一年位は持つだらう◎シテ見ると値の安い君の帽子は却つて高く僕のこの高價な帽子の方が安いことになるぢやないか』と言つて澄まし込んで居た◎又或者が金椽の近眼鏡を掛けて居るのを見て『君も案外なハイカラだね』と揶揄すると其人『冗談ぢやない此の金縁眼鏡は明治三十二年に買つたのだから約三十年持ち續けて居るのだ◎銀椽や鐵椽の眼鏡を用ひたこともあるが二三年で破損するので金椽に宗旨を代へたのだ◎二三年間位に破損する銀椽や鐵椽の眼鏡は一箇二三圓位の安いものとしても三十年間に見積るとザッと三十圓位になるが僕の此の金椽はたつた金十圓で買つたのだよ』と答ゐた◎斯うした例は他にも澤山ある一見贅澤なものを用ひて居る樣でも此の九圓の麥藁帽子と十圓の金椽眼鏡のやうに其實寧ろ甚だ經濟的なものもある◎此邊を能く洞察しないで皮相的に若くは直感的に高價なものを用ふるのは贅澤だと極めるのは甚だしい妄斷である◎併し貧乏人は耐久力のある質のいゝ随つて値の高いものを用ふることが出來ないので自然値の安い疎惡品ばかり使用する◎日常生活の必需品たる米を買ふにも下等米を小買ひにするのでマヅイ物を喰つた上に不經濟をして居るのだ◎多少資力のある者は米でも何でも貯藏して置けるものである以上それを一時に多く買ひ込むから結局經濟的になるわけだ◎ナゼと云つて一箇五十錢で買ふよりも十箇買へばそこに幾分の割引があつて四圓餘りに買ゐるからである◎十箇の四圓餘りは一箇の五十錢よりも安い随つて經濟的だ印刷物でも何でも少ないよりも多い方が得になる◎然るに貧乏人は一時に多く買ひ込む資力がないので惡いものを用ひた上に資力ある者よりも却て不經濟をして居るのだ◎斯うして富める者は益々富み貧しき者は益々貧しくなつて貧富の懸隔となるのぢや。

馬賊の巣窟へ（承前）



馬賊の巢窟へ（承前）

三山學人

『人體各部の名稱にも別名があり、中には面白いものや首肯す可きものもあります。』

『馬賊の間では決して紅鬍子（フンフーツー）と云ふことはありません。話の間に混る紅鬍子（フンフーツー）と云ふ言葉も出來るだけ避けるやうにして居ます。何うあつても紅鬍子（フンフーツー）と云ふ言葉を使はねばならん場合には、紅（フン）と云ふて、手で鬍を逆に撫で上げる眞似をして、鬍子と云ふ意味を表はすのです。』

五

私は愛想よく話して吳れる頭目から、猶ほいろ〳〵のことを聞きたかつたが、外に眼を向けると、まう日は西の山に春こうとして居るので、名殘惜しくも厚く禮を逃べて歸路に就いた。乘馬は既に準備が出來て居る。案內者に促されて家路に向つた。

私が今日一日の出來事を色々考へて居ると、エムは

『馬賊に付いて貴方は何う御考へですか。私が出逢つた話も申し上げますから、御判斷の資料になされたら

可いでせう。』と云つて、次の話を路々語つて聞かせた。

『私は此の土地へ來て間も無く、把福老爺(ハーフーラオエー)と知り合ひに爲りました。之れと云つて別に彼から要求せられたことはありませんが、來任前には知人からいろ／＼と把福の話を聞かされて、呉々も注意するやう申されたものです。知り合ひに爲つてから私は幾度か食事に彼を招待しました。或日のこと、何時もの通り食事が濟んだ後、把福(ハーフー)は此の邊で使ふ露支混合語で次のやうなことを云つたのです。』

(ねヱムさん、此れからはお宅でも、事務所でも、開け放しにして置いたからつて、貴方(あなた)に害を加へるものは有りません。事業地だつてさうです。だから安心してお出でなさい。)

(何故(なぜ)?。)

(何故(なぜ)つて私たち二人は兄弟に爲つたんだから……)

『滿腹した把福(ハーフー)は、支那酒で光る顏を撫で廻しながら、ニヤ／＼笑つて居る。私は馬賊と兄弟分に爲るなんて、何だか馬鹿にされたやうな氣持がするので、相手にもしなかつたのです。』

『私は把福(ハーフー)の言葉には信賴しませんでしたが、其れ以來と云ふものは、事業地でも、家庭でも、孤鼠泥(こそどろ)にさへ見舞はれず、至極圓滑に運びましたので、何より嬉しく思ひました。』

『其の頃私は此の揃つた二匹の馬を手に入れて喜んで居りました。すると或る朝馬夫が來て昨晩馬を盜まれたと知らせました。私は吃驚りして諸方面へ捜索の人を出し、極力發見に努めましたが、三日間は何の

手懸りもありません。三日目に把福(ハーフー)が來ましたから、馬賊が盗んだと信じて居る私は、彼に向つて馬鹿にしたやうな口調で斯う云つたのです。』

(おい把福(ハーフー)、損は掛けないなぞ云つて置きながら、お前の手下が二匹とも私の馬を盗んだぢやないか、お前の云ふことだつて、何だか當になりやしない。)

(何だつて、私の手下が………、それは多分露西亞人だらう)

『把福(ハーフー)は斯う云ひ棄てゝさも不平らしい顔で歸つて行つたのです。』

『其の後五日も經ちますと、私は馬のことを全く諦めて仕舞ひました。』

『夕方に近い或る日、把福(ハーフー)はノックもせず、無音のまゝ私の部屋へ入つて來ました。彼はそんな無作法な男では無いのですが、其の日に限つて、何處か落付かん所があつたやうでした。』

(エムさん、漸く馬を見付けました、何にも云はないで今夜厩の戸を開け、牧草、燕麥、飲料水などの用意をして置いて下さい、外を見てはいけませんよ。)

『私は把福(ハーフー)のこの言葉を聞いて驚きました。開いた口が塞がらないと云ふうちに、把福(ハーフー)は倉皇として歸つて仕舞ひました。私は其の通り馬夫に云ひ付けて寢ました。其の晩は別に變つたことも無かつたのですが夜が明けると馬夫は周章てゝやつて來て馬は二頭とも還つて居ると知らせました。』

『私は大急ぎで服を着け、厩へ行つて見ますと、馬は二頭とも腹まで泥に塗れて居ますが、元氣好く燕麥

を喰つて居ます。私は何だか把福の幻術に懸つたやうな氣持がしてなりませんでしたが、庭へ出ると、把福がぢつと此方を見詰めて居るのに逢つたのです。把福は私の顔を見ると』

（鐵砲お持ちですか。）

（うん、あるよ、壁に懸けてあるのを知つてるだらう。）

（では、銃を持つて一緒に御出でなさい、途中で話しましやう。）

『私は何が何やら薩張り判らないが、云はれる儘に銃を持ち、急いで彼について行きました。把福は走りますので、一緒に行くのは骨でした。』

（途中で話すと云ふのは何にか。）

『私は把福に斯う尋ねました、すると把福は』

（馬泥棒は馬賊だと云はれたが、貴方はよく見抜かれたものだ。近頃附近の馬賊團に若者が二人這入つたのです。この二人は何れも貴方のことを聞かなかつたので、別に頭目や他の人には相談もせず、貴方の所から馬を盗み出して山へ入つたのです。若者は貴方と私が兄弟分だと知らなかつたのです。しかし罪は罪だから死刑です。山の向ふに待たせてあるから速く行つて銃殺しませう。）

『私は驚いて仕舞つた。馬泥棒の一件が斯うした結果にならうとは、夢にも思はなかつたのです。』

（馬さへ見付かれば其れで滿足だ、別段そんな手荒なことはせんでもいゝよ。）

『私は出來るだけ彼を宥めて、繰り返し〳〵斯う云ひましたすにと。』

（問題は二つだ、馬泥捧した奴は、貴方に對して大きい罪を犯して居る、だから貴方は彼奴を許すか許さんか、裁斷する權利がある。又私には背信の罪がある。不注意とはいへ罪は罪だ。此れは許すことが出來ない。外の奴等の見せしめにもならんから。）

『斯う言つて、最初の間、把福（ハーフー）は頑として聽き入れませんでしたが、彼等を殺すと一生夢見が惡いぢやないかと私が云ふと、彼も我を折つて許すことを承知したのです。』

『私は斯うした經緯に出逢つて、馬鹿らしいことを爲るものだと思はずに居れませんでした。馬二頭許りのことで、誰が人を二人も銃殺するものですか。此れは吃度自分の威令が行はれることを見せる爲め、把（ハー）福（フー）の仕組んだ芝居だと思ひましたが、兎も角現場へ行つて見やうと云ふので、彼と一緒に小山を越ゑたのです。山の向ふは平地に爲つて居ました。其處には何うです、驚くぢやありませんか、二人の馬賊が番人も何も居らず又別段捕縛にもせられて居りません。相當の隔りを置いて二人は大地に坐つて居ます。私達の姿を見ますと、最後の時が來たと覺悟したものか、二人とも立上りました。』

『把福（ハーフー）は近くまで行つて、何やら支那語で云つて居ました。最初二人の者は何れも低頭（うなだ）れて聽いて居ましたが、突然揃つて跪坐し、頭を大地に磨り附け、何か云ふては老大、老大と叩頭しました。多分許された御禮でせう。間も無く二人の姿は林の中に隱れて仕舞ひました。』

『二人の姿が見江なくなると、把福(ハーフー)はホッと安心したやうな息を吐いて、それから思ひ出したやうに私の手を堅く握り締め、頭を下げて斯う云ひました。』

（エムさん、誠に申譯がありません、私が惡かつたのです。不注意であつたのです。二人の命を救けて下すつて有難うございました。私から厚く御禮申します……。）

『把福(ハーフー)は繰り返しく禮を述べた後、私と別れて二人の跡を追つて行きました。』

『其の後少時の間、私は把福(ハーフー)に遇ひませんでした。しかし眞實把福(ハーフー)が二人の者を許したか何うか、氣懸りでしたから、人を遣つて見させますと、貴方が許したものを私が自分勝手に罰する理由はないから御心配なく、と云ふ把福(ハーフー)の傳言を得たのです。何處までも義理堅いのには少からず感激しました。此の事が有つてからは、道路、林地などで逢ふ見ず識らずの支那人でさへ、私に敬意を表すると云ふ有樣で、仕事の上にも尠なからぬ便利を得るやうになりました。』（ミクルーキノの手記より）



パン賣の老露人

悠々居主人

平氏は桓武天皇より出づ、その旗赤きを用ふ、源氏は靖和天皇より出づ、その旗白きを用ふ、と日本外史に書いてある。それと之れとは別だが、露西亜の現在は赤の天下であつて、白といはれた前露西亜の軍人や官吏は見る影もなく凋落し、壇の浦に碧海の藻屑となつた平家の末路、と云ふと赤の末路になるが、丁度それに似た所がある。驕る平家は久しからずとは好く言つたものだ。

『露西亜パン、パン、パーン。』

と髯の蓬々と生れた、見にくい衣物を着た、ちよつと見は乞食のやうに思はれる、それでゐて何處か品のある五十以上らしい一人の露西亜人が、パンを入れた横に細長い箱を首筋から紐を下げて臍のあたりにブラ下げ、さうして皺枯れた聲音で露西亜パンを賣り歩いてゐる。

私は或る日、家側の小さな空地――そこには梨の木があり、蔬菜が培はれてある――を歩きながら、四邊の木々の緑を通して吹き來るすが〳〵しい大氣を呼吸してゐると、そこに右のパン賣の老露人が來た。私は

それを一眼見て（ハハァ元と軍人でもした白系露人の成れの果だな、氣の毒なものだ、その露西亞パンを買つて進じやう）といふ考ゑが突嗟の間に起つて

『モシ〳〵、パンを買ひましやう。』

と呼び止めると、此の老露人は大きな身體をのそり〳〵と運ばせて來て、パンを入れた箱の蓋を開けて見せる。例の粒砂糖のついたパンで、別に欲しくはなかつたのだが

『値ひは何程ですか。』

と訊くと、『細長いのが一ッで十錢』と、それに指さして答ゑた。

三ッばかり買つて、ちよつと待たせておいて、急いで屋內に入り、蟇口から十錢の穴明き白銅を三ッ持つて來て、パンと引代へに金を拂つた、すると老露人はもや〳〵した頭を下げて

『ありがたう、ありがたう。』

と日本語で御禮をいつた。さうして彼は又（露西亞パン）を呼びながら立去つた。

白系露人の成れの果と睨んだ私は、その老露人のことが頭の中に深く印象され、鼻の高い、眼玉の青白く光る、顎一面に髯の生ゑた顏が、眼を閉ぢると直ぐ浮ぶのであつた。

×　×　×　×　×　×

私は手帳に嘗て斯んなことを書いた。

『生活苦！』、生活苦！』現代の中以下の人間は皆一様にこの苦みで悶えてゐる。後から後からと失業者が續出して、我れにパンを與へよ、我れに職を與へよ、我れに生活の道を與へよと、特に聲立てゝ叫び廻るわけではないが、智識階級の人々も、筋肉勞働者の人々も、皆斯う心に叫んでゐる。米國獨立戰爭時代にパトリック、ヘンリーは（我れに自由を與へよ、然らざれば死を與へよ）と叫んだが、生活苦に惱まされつゝ現代人の多數、殊にその失業者は、やがて（我れに職を與へよ、然らざれば死を與へよ）と叫び出すかも知れない。斯うなつた時の國家と社會はどうなるだらう？。』

老露西亞人からパンを買つて、机の前でこれを噛りながら、私はフト此の手記のことを思ひ出し、遂にその手帳を出して見た。この老露人が果して白系露人の成れの果であるならば、失職の結果、喰ふに困つてパンの賣子となり、それで露命を繋いで居るのだらう。妻もあらう、子供もあらう、或は孫もあらう。若し妻子があるとすれば、妻は何處かの女中働きをなし、子供は給仕などして居るかも知れない。國破れて山河在りではなく、生命を託した祖國の滅びは貴族の乞食を出し、軍人のパン賣をも出す。

『パンに窮したものがパンを賣る。』

之れも何かの因縁だらう。人はパンのみにて生きずとキリストは言つたが、生きると云ふことの第一は食ふことで有るから、パンが喰べなくなると、進んで餓死するか、盜み心を起すか、但しは馴れぬ勞働までして喰つて行くか、何うにかせねばならぬ。パンに窮した老露人がパンを賣り歩くのは、赤きが榮えて白きが

衰れた今日、萬巳むを得ぬ結果であらうと思ふ。

斯うして恒産のない者が多くなれば、非凡の人でない限り、恒心を失つて、或は生恥を曝らし、或は惡いことを爲し、刑務所行きの厄介者が殖ゐる樣にならうも知れぬ。

× × × × × ×

幾日か經つて、また此の白系らしい老露人が前の通りの容子と調子でパンを賣りに來たので、私はその日も又パンを買つた。すると前同樣に御辭儀をして（ありがたう）と言つて立去つた。

『この老露人は慥かに白系のものだ。』

と私はいよ〳〵さうと一人（ひとり）で極めてしまつた。

花にも赤いのと白いのとがある。今は白い梨の花も皆散つてしまつた、赤いのも見られない。四邊は唯最う青い色ばかり榮ゐて、『綠陰幽草勝花時』の天地となり、白の赤のと云ふ時代でない。さるにても水の流れと人の身の行末の果敢なさよ。鳥も獸も虫も草木も自然に生きて行くのに、人ばかりは自然のみでは生きて行かれず、食ふにさへも手數が掛かる。あはれ果敢なきは人間の生よ。

× × × × × × × × × × × ×

スーブニール

三井鶴吉

海岸の都市大連の天地は雪の陰鬱から今漸く晴れかゝつてゐる、恐らくは、あの海、あの郊外アスフワルト道の方向へと晴れてゆくらしい。

其處の、海に突き出た岸の上には、螢草、月見草、其他の花が色とりどりに燎爛と咲き亂れてゐた。二人は胡藤の根が其處にも此處にも飛び出してゐる險道を海づたいに此處まで辿りついたのだつた。良二には彼女が踵高な靴で奇用に胡藤の根上つた林の中や渚のゴロゴロした眞砂の中を平穩に步いて呉れたことに對して、輕い物足りなさを感じるのだつた。若し今二人が步いて來た胡藤林の中で、其の根上つた株に彼女が躓いてくれたら、直ぐ右側を平行して步いてゐた良二は彼女の腕を助けたらう。良二は彼女を憩はすべくカクシから半巾を出して其處の芝の上に擴げながら此の物足りなさを味はつた。然し其の物足りなさうな顏を彼女に見られる事は苦痛であつたので數丈下の海原へ眼を落した。晩秋の海は碧みぎつてゐて只良二らの岸に碎くる波のみがほんの一瞬時白さを見せるばかりだつた。良二は半巾の上に憩ふべく勸めたが、彼女は

夫れを辭した、そして良二と三尺程離れて吻とした樣に座つた。

『どう……西さんお腹減きませんか』

『いゝえ、お午は何日も喰べないのです』

夫れは二人の間に何分目かに交された言葉であつて又何分間か沈默が續いた。

『西さん花の採りつこをしませう、種類の違つた花を澤山集めたものが勝です』

彼女は直ぐ承知した、そして二人は右と左へ別れて草花の採集を始めた。

良二は彼女と段々離れながら少年時代の事を考ねた。それにしても斯うした若やいだ氣持が今日彼女との間に出たことはどんなにか嬉しかつたらう。其間にも良二の手には五六種類の花が握られてゐたが今度は小さい松の根元で月見草を見付けた。芝に密着いたやうにして咲いてゐる黄色な花も採つた。良二は脊伸びして彼女の方を振向いた。彼女は餘念なく採集してゐた。良二は彼女と數間距たつて仕舞つたことに氣が付くと、俄かに淋しくなつたので、もう採集をする氣になれず、遂にその採集の手を止めて彼女に近づいて行つた。彼女も此のとき微笑を作りながら良二の方へ靜かに歩み寄つた。

『澤山採れましたか、もう止めて審査を始めませう』

『エヽ、でも澤山無いことよ』

二人は芝草の綺麗なところに膝を付いて向ひ合ひながら自分の花を一本宛並べ出した。良二は名もない雜

草の穗の出た草をも一緒に『これも花の部です』と言つて彼女を笑はした。結局彼女に無いのが月見草、良二に無いのが釣鐘草で、二人とも一本宛變つた花を採つた他は皆同じだつた。

『西さん遲く成ると惡いでせう、もう歸りますか』

『いゝわ、もう少し位關いませんワ』

『ぢやあ、公園の中を歩いて正門から電車に乘る事にしませう』

二人は此の思ひ出の岸(これは今日に至つて其時の散歩中で一番印象深い岸と言ふ事が出來る)と言ふよりそれは山であつて、此の山から二人肩をすれ〳〵にして降り、そして渚を歩き出した。午後の弱りかけた陽光を受けて沙原一面に小波の跡が美麗に刻まれてあつた。

良二は歩きながら考へた。自分ら二人は今日何んの爲めにこんな處へ出かけて來たのだ？ 彼女は自分の言葉通りに歩き、また花採りを遣つた、其處に何らの異性といふ感じを持たぬ氣に見ゆる。女の十八、女の十八！ 殊に彼女は詩を書き歌を書かうと言ふ女性であり、其の作品は可成り自分らのグループでも認めてゐるそれだのに斯んな無邪氣な子供々々してゐる彼女を見ると、あの詩であれ、あの歌であれ、とても彼女の創作とは思へない――今日のこの無邪氣さが彼女の本性であるか何うか――若し夫れが彼女の裝ひであつたとしたら彼女は自分を何う觀察してゐるだらう？ 良二といふ男を無邪氣な若々しい人間と思つたか、或ひは裝ひ事してゐる卑怯な男だと思つたか。自分は其のどちらにも取つて貰ひたくない。其の何れに觀察されても

今日の場合、これに對照物として『戀』の潜在といふ事に到達されるからだ。戀と好意、夫れは甚だ識別が困難な事である。然し自分には好意としてそれがあまりに能く識別される。だが斯んな事をかうして考ねると言ふ事、夫れが既に好意の則を越ねて戀に赴きつゝあるのではあるまいか？良二は手ごろの石を拾ふと波を掬ふて投げた。石は二回波の上を辷つて姿を消した。彼女は笑つて見てゐた。

合歡、あかしや、萩などの植ね込まれた公園の沙利道を歩いてゐる内に、三四回人々と擦れ違つた。それらの人々は良二ら二人を振返りながら妙な眼を向けて海の方へ歩いて行つた。良二は人々から見らるれば見らるゝほど平氣に歩いた。彼女は相變らず無言で歩いた。

間もなく電車が來た。良二ら二人と五六人の人々を乘せた電車は、町で乘る電車と感じが違つて、音響が高く而も元氣よく疾走した。良二は或る年山陽線の或る海濱地方を走る列車に乘つた當時の事を思ひ出して愉快さうに腰を浮々させてゐた。或る停留所に着くと、二人はそこで電車を降りて暫らく街を歩き、そして或る大きな建物の下で別れた。それが午後三時頃だつた。

其の建物が何となく良二に威壓を與ねた事を良二は意識してゐる。何といふ大きな建物だつた事か。それにしても良二は二人の姿が寂しい影像のやうであつた事を忘れられなかつた。

×　×　×　×　×　×

良二は又此の一つの思ひ出を其後惱まなくばならぬといふ事を想像出來なかつた。

それから新しい年を迎へた。良二と彼女との間には何等の接近もなく日々遠ざかつて行つた。夫れは雪の陰欝さから今にも綠の木立、綠の空と晴れやうとする或る都會の或る事務所の青ラシャ張の机に良二は額を打突ける程あのたつた一つの思ひ出(スーブニール)を追ふた。

彼女に刻々と近づきつゝあるのは結婚期である。彼女の結婚！それは人生の最後を飾る第一階段であつて夫れを拒むものは遂に不幸であらねばならぬ。良二に寧ろ彼女の結婚に對して祝福せねばならぬ。然しながら良二の思ひ出(スーブニール)は又彼女の思ひ出(スーブニール)であるではなからうか？少くとも其の思ひ出(スーブニール)を與へた者は誰であるか？良二は恰度(てうど)毆ぐりつけられた頭をかゝへる樣に兩掌(りやうて)を頭にさゝへた。(完)……一三、二、三……

少年の犯罪

近時少年の犯罪が著るしく激增し智能的の犯罪や團體的の强盜事件などの重大犯を出すに至つた大阪地方裁判所では少年審判所に移送するも別段改悛の見込みなき被告につき之れが實刑を科するために齋藤裁判長の刑事第二部で專らその審理に當たらしめてゐる內容については少年法によつてこゝに發表の自由を有せないが過去の經歷や學歷もない少年犯罪者でそれが刑期算定の基礎を見出すためには人知れぬ苦心を有しつゝあるらしく今回各被告出身の小學校と聯絡をとつて學校、家庭、友人の各關係につき調査せしめることゝなつたそして少年犯罪は環境の支配を受けることが非常に多いので被告の在學期間、轉校の有無、嗜好、學科の好き嫌ひ、通學の勤怠、遲刻早引の有無、敎員に對する態度、友人の種類、家庭については義父母、祖父母の有無、兄弟の數など各方面につきて心的考査も求めて飽くまで善導の方針で處理することゝし而かもこの調査が外部に漏れたりその被告の家族や友人などにも知らせると影響する弊害の多いことに留意し學校長に絕對的の責任を持たし調査の敎員以外にはその一部たりとも祕密にされたき旨依賴し旣に數通は發送されてゐる模樣で後日これの統計が出來れば犯罪硏究につき又と得難き好個の資料となるべく司法及び敎育兩方面からこの調査を非常に期待されてゐるさうだ。

研究會の趣旨目的

滿洲社會事業研究會は其の名稱の如く研究を主さする間接機關でありますが研究さ共にその研究の結果を發表し講演會その他の集會をも催ふし宣傳、鼓吹、報道、論評さ相待つて實行促進に努力しますから直接に自ら實行しないでも漸次實行を促すことになります場合に依り又事業の性質によりては本會自ら實行するやうな事があるかも知れませんが本來の使命は間接的に助長、發達、進歩を計り社會問題に對する正しい理解力を一般に普及したいのであります夫れから本會は會員組織でありまして會員を別つて贊助員及び普通會員さし役員は會長一名、副會長二名、幹事長一名竝に幹事若干名で外に顧問、相談役及び評議員若干名を置くことに成つて居ます評議員は贊助員の中より選擧し其の任期は二年です評議員會は會長において必要さ認めたるとき又は評議員五名以上の請求ありたるとき開くのです評議員會は今日までに既に拾回開きました本會の經費は會費及び寄附金を以て之れに充て會費は贊助員毎月貳圓、普通會員同上壹圓です追つて沿線重要地に支部を設けます。

研究會の組織綱領

◎大正十二年度統計年報……………

◎亞細亞露西亞の交通………

以上、滿鐵庶務部調査課

◎支那に對する門戶開放主義……

右、滿鐵東亞經濟調査局

◎滿蒙宣傳號…………

大連、日滿通信社發行

◎日本工業の支那進出に關する研究…………上田務氏著

◎滿洲日日新聞、遼東新報、大連新聞、日滿通信、地方經營(滿鐵地方部庶務課)、滿蒙、讀書會雜誌、海友、調査時報(滿鐵調査課)、滿洲建築協會雜誌、極東、滿洲技術協會雜誌、支那研究、滿洲公論、無上道、聖徳、滿洲經濟時報、關東新聞(以上大連)◎警察彙報、(關東廳警務局)◎大陸日日新聞、奉天新聞、奉天毎日新聞、滿蒙經濟新報(奉天)◎調査彙報(長春商議所)調査時報(滿鐵哈爾賓事務所)◎大乘(上海)◎調査彙報(朝鮮總督府)、朝鮮地方行政、朝鮮及朝鮮人、京城日報、(以上京城)◎臺灣時報、臺法月報(以上臺灣)◎都市問題(東京市政調査會)、東洋、支那、愛國婦人、人道(以上東京)◎東亞經濟研究(山口)◎福岡日日新聞(福岡)

毎月一回發行

定價表

普通號六拾錢、特別號七拾錢

冊數	定價	郵稅
三箇月分	壹圓九拾錢	五錢
半箇年分	參圓八拾錢	郵稅共
一箇年分	七圓五拾錢	郵稅共

▲半年分及壹年分には特別號を含む▲誌代は總て前金拂の事▲郵劵代用は一割増

廣告料

等級	半頁	一頁
特等	四拾圓	八拾圓
一等	貳拾五圓	五拾圓
二等	拾五圓	參拾圓
三等	拾圓	貳拾圓

●三回以上は割引可仕候●年極めは特別に御相談可致候

●〆切りは前月二十日限り

大正十四年七月一日發行

發行人 山田武吉

編輯人 大內四郎

印刷人 太田信三

印刷所 小林又七支店 大連市大山通

發行所 滿洲社會事業研究會(電話五四二六番) 大連市松山町五番地七號 振替口座大連一二三九番

最新式美術諸印刷

活版石版帳簿

K.O

和洋紙、板紙、封筒

石版意匠（包紙レッテル）調製……

活字、印刷インキ、印刷木具類、印刷、製本諸材料、石版石、荷札、海關申告書、約束手形、紙テープ、安全紙幣把、色分銀銅貨包、粉末繪具、陸軍ノ陸圖、海軍ノ海圖、朱肉、トイレットペーパー、其ノ他

特約販賣品

星印名刺臺紙
ハンデー謄寫版
太陽印簿記インキ
邦文歐文タイプライター
三菱造船所製アートメタル製文書箱
酸素療器オキシヘーラー
洋蠟燭

電話 長四四四二番
六〇四三番
七九六四番
振替大連九八四番

大連市大山通六三

小林又七支店

大連郵便局私書函第六十七號